

No.8 >>> Contents

●提携支援センターから

日本の絹の里に設置された「蚕糸・絹業提携支援システム」PRコーナー	1
提携支援センター活動日誌 No.8	4
純国産絹マーク使用許諾について(平成21年度第2次分)	5
19～21年度に承認された蚕糸・絹業提携システム概要一覧	9
純国産絹マークの仕掛け人は語る②	11

●今月の話題

10月は、日本橋に注目 ～第1回「日本染織文化博覧会」を開催～ 京丹後市企画総務部企画政策課 課長補佐 高橋 尚義	14
--	----

●国内情報

絹織物の集散地を核とした和装産業の工程間連携に関する報告書から(2) 経済産業省 近畿経済産業局	19
---	----

●トピックス

国内産地情報、海外情報(中国)	32
-----------------	----

●横浜開港とシルク貿易

横浜開港の始まり..... シルク博物館 元部長 小泉 勝夫	35
--------------------------------	----

●イベント情報..... 39

●登録コーディネーター一覧..... 40

●純国産絹マーク使用許諾者一覧..... 43

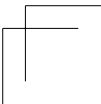
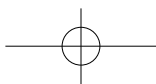
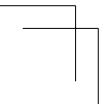
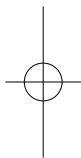
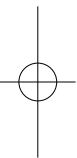
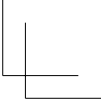
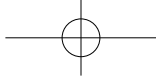
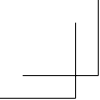
●蚕糸関係博物館一覧..... 45

●蚕糸関係団体ホームページ一覧..... 46

●統計資料..... 47

(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。)

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、インターネット(<http://www.silk-teikei.jp/>)でもご覧になれます。



提携支援センターから

日本絹の里に設置された「蚕糸・絹業提携支援システム」PR コーナー ～純国産絹製品の紹介と需要拡大を目指して～

群馬県立日本絹の里
中 野 紘 子

平成 21 年 3 月、群馬県立日本絹の里に『蚕糸・絹業提携支援システム』PR コーナーが全国に先駆けて設置されました。

この PR コーナーは、(財)大日本蚕糸会が蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業や純国産絹製品を広く普及啓発するための手段として、①蚕糸現場である群馬、②絹製品加工現場として京都、③消費者との接点である東京などに設置する構想と聞いています。

私は、来館者の多い土、日、祝日を中心に、この PR コーナーの解説業務を担当しておりますので、本稿では、日本絹の里に設置された PR コーナーの内容、来館者の反応

や意見などについて所感を交えて紹介させていただきます。

■ PR コーナーの内容

日本絹の里に設置された PR コーナーは、大きく分けて 3 つの構成になっています。

まず、立体模型で、養蚕農家、製糸、絹加工業者、小売業者の提携による純国産絹製品づくりを表現。

次に、映像システムにより国産の繭・生糸が生産される工程や絹製品の加工方法、蚕糸・絹業提携グループの紹介や純国産絹マーク制定などを映像と音声で分かり易く解説しています。



PR コーナー全景



純国産絹製品の展示

続いて、純国産絹マークが貼付された着物・帯・ニット製品・ストール、小物などいろいろな純国産絹製品を展示し、来館者にご覧いただいています。

■来館者の意見や要望

日本絹の里には、蚕糸や絹に興味を持つ方々が来館されるので、様々な意見や要望、時には厳しいご指摘を受けることもあります。『蚕糸・絹業提携支援システム』PRコーナーが設置され、およそ半年が経過しましたが、新蚕糸対策や純国産絹マーク制定などについて来館者の声を記述します。

＜来館者の声＞

- ・着物は純国産と思っていた。少なくとも着物は純国産であってほしい。
- ・着物は純国産のものを購入したいから、もっとがんばって製品を増やしてほしい。
- ・最近、呉服屋で着物を購入したが、純国産かどうかの説明は無かった。製品を購入するとき履歴が分かるのは安心で良い。
- ・純国産絹製品が一堂に介し、購入できる場所を設置してほしい。
- ・蚕糸絹業が日本の近代国家を築いた産業であることをもっと幅広い層の人に知ってもらうために今以上にPRが必要では。
- ・最近、純国産絹マークを見かけるようになった。
- ・希少性はわかるが、その分、製品は高価なイメージ。
- ・製品の履歴、純国産かどうかより、デザ

イン、価格で選ぶ。

- ・蚕糸対策が遅い（元養蚕農家）
- ・大切な国のお金は大事に使ってほしい。
- ・蚕糸業は助成があるだけ恵まれている。



映像システムを見学する熱心な来館者

■PRコーナーの管理運営

PRコーナーに展示する純国産絹製品については、純国産絹マークの貼付が許諾された業者のご理解とご協力のもと、一ヶ月程度で製品を入替して、全国各地で開発された和装、洋装、小物など、様々な純国産絹製品を来館者に紹介しています。

また、映像システムなどにより、国の新蚕糸対策や純国産絹製品に理解と関心を深めていただき、一定の成果が得られれば良いと思います。

なお、解説を担当して感じることは、純国産絹製品の展示PRだけでなく、出展にご協力いただいている業者にとって、製品の普及、売り上げにプラスになるコーナー運営を心がける必要があることです。

展示する絹製品については、繭生産から製品加工までの生産履歴を知っていただく

ことや希少な国産繭・生糸の特長を活かしていることなど、絹製品のコンセプトを来館者に伝えられるよう努めています。また、消費者のニーズや声を絹加工業者や小売業者等に届けていければと考えております。

結びになりますが、蚕糸・絹業を取り巻く情勢は、養蚕農家の高齢化により安定的な繭生産が難しく、生糸の品質や価格、和装市場の縮小など、多くの問題が山積していると感じています。

しかし、蚕糸絹業の持続的発展を図るためには、川上から川下まで一致団結し、消費者に評価される絹製品づくりを行う提携グループ育成が急務であります。

日本絹の里をはじめ、京都や東京等に設置される『蚕糸・絹業提携支援システム』PR コーナーが純国産絹製品の需要拡大に向けての一翼になれること、そして、提携グループ活動が軌道に乗り、日本の蚕糸絹業が元気になり、国内は元より世界に通用する製品がより多く生み出されることを期待しています。



来館者へ説明・解説する筆者（左）

提携支援センターから

支援センター活動日誌No.8 (H21.7.1 ~ H21.8.31)

年月日	活 動 内 容 等
H21.7.15 ~ H21.7.16	養蚕資材の安定供給の打合せ等（岐阜）
21.7.17	(社)日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
21.7.22 ~ 21.7.23	琴糸等特殊生糸の生産・流通状況調査（滋賀）
21.7.28 ~ 21.8.3	第6回「日本の絹展」開催
21.8.5 ~ 21.8.7	養蚕資材等の打合せ（群馬、長野）
21.8.17 ~ 21.8.18	帯に係る純国産絹マークの打合せ（京都）
21.8.21	栃木県養蚕産地育成協議会及び財団法人大日本蚕糸会の共催による 栃木県晩秋蚕期優良繭生産研修会 (栃木県宇都宮市 栃木県青年会館)



化粧品など繊維以外の用途も広がりつつある
シルク製品（日本の絹展より）」

純国産絹マーク使用許諾について（平成 21 年度第 2 次分）

社団法人 日本絹業協会

純国産絹マークの平成 21 年度第 2 回審査会を 7 月 17 日（金）に開催しました。今回、26 件（うち、生産履歴の追加申請が 1 件、製品の追加申請が 2 件、製品数量の追加申請が 1 件）から申請があり、審査委員会で審査した結果、下記のとおり 25 件に対し、7 月 24 日（金）付けで純国産絹マーク使用許諾する旨を通知しました。

この結果、これまでの純国産絹マーク使用許諾者は合計 87 社となります。（本誌の使用許諾者一覧参照）

純国産絹マーク使用許諾企業名 （表示責任者名）	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 （提携養蚕農家・企業等）
荒川株式会社 代表者名 荒川 慶一 京都市下京区室町通綾小路下ル 白楽天町 504 番地 （担当者：荒川慶一）TEL 075-341-2113 表示者登録番号 0 6 7	帯 × 帯 揚	2100 本 300 本	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県安中市養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 染 織 （株）一色アキスタイル（帯揚） 染 色 （株）アキサイエ（帯揚） 染色・組加工 金井工房（帯×） 刺 繍 （有）岩滝織物、無し（帯揚）
第一衣料株式会社 代表者名 金子 守隆 東京都中央区日本橋富沢町 12-20 （担当者：金子守隆）TEL 03-3664-3231 表示者登録番号 0 6 8	後染反物 （色無地）	140 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物（株） 染 色 （株）中田勝
株式会社紅輪 代表者名 丸山 実 神奈川県川崎市宮前区菅生 1-13-1 （担当者：丸山実）TEL 044-976-1448 表示者登録番号 0 6 9	後染反物 （色無地）	60 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物（株） 染 色 小林染工房 制作企画 （株）丸上 意 匠 自社
装いの道株式会社 代表者名 山中 英靖 東京都千代田区麹町 4 丁目 4 番 1 号 （担当者：山中英靖）TEL 03-3230-3010 表示者登録番号 0 7 0	胴裏絹 （トルマリン加工）	300 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発（協） 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業（株） 精練加工 （有）江島屋染工場
株式会社高橋屋 代表者名 高橋 市郎兵衛 岩手県一関市大町 1 番 2 0 号 （担当者：高橋市郎兵衛）TEL 0191-26-5291 表示者登録番号 0 7 1	胴裏絹 （灰汁浸け加工）	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発（協） 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業（株） 精練加工 （有）江島屋染工場

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
おお又株式会社 代表者名 大又 義弘 大阪市旭区今市1丁目5番15号 (担当者:大又義弘) TEL 06-6955-2200 表示者登録番号072	胴裏絹 (灰汁浸け加工)	500 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社天野屋呉服店 代表者名 天野 晃作 栃木県小山市中央町3丁目1番29号 (担当者:天野晃作) TEL 0285-22-0062 表示者登録番号073	胴裏絹 (灰汁浸け加工)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社きもの潮見 代表者名 潮見 憲一 愛媛県西条市玉津558-2 (担当者:潮見憲一) TEL 0897-56-0999 表示者登録番号074	胴裏絹 (パールトン加工)	300 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株) 加 工 (株)パールトーン
株式会社とみひろ 代表者名 富田 浩志 山形県山形市香澄町一丁目11-18 (担当者:富田浩志) TEL 023-635-1212 表示者登録番号075	胴裏絹 (酵素精練)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 山直織物 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社細安 代表者名 小林 慎二 福井県福井市手寄1丁目9番18号 (担当者:小林慎二) TEL 0776-22-7878 表示者登録番号076	胴裏絹 (酵素精練)	200 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 山直織物 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
京和きもの株式会社 代表者名 高橋 忠臣 神奈川県厚木市中町三丁目2番12号 (担当者:高橋忠臣) TEL 046-223-0034 表示者登録番号077	胴裏絹 (酵素精練)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 山直織物 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社まるため 代表者名 小池 正司 長野県長野市南千歳一丁目3番地5 (担当者:小池正司) TEL 026-227-5291 表示者登録番号078	胴裏絹 (トルマリン加工) (パール加工)	120 枚 30 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株)、(株)カプト 精練加工 (有) 江島屋染工場、 キヌテック (株)
株式会社小川屋 代表者名 荒木 俊 群馬県前橋市千代田町二丁目7番15号 (担当者:荒木俊) TEL 027-231-6000 表示者登録番号079	胴裏絹 (灰汁浸け加工) (トルマリン加工)	60 枚 60 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社エムラ 代表者名 江村 栄治 山口県防府市栄町一丁目6番31号 (担当者:江村栄治) TEL 0835-22-0005 表示者登録番号080	胴裏絹 (酵素精練) (酵素精練)	120 枚 30 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 新小石丸、ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株)カプト、丸進機業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場

国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
株式会社荒井呉服店 代表者名 荒井 芳枝 東京都八王子市八日町9番8号 (担当者: 荒井芳枝) TEL 042-625-5291 表示者登録番号 081	胴裏絹 (酵素精練)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 坪金工業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社牛島屋 代表者名 武内 保衛 富山県富山市中央通り1丁目6-9 (担当者: 武内保衛) TEL 076-420-3450 表示者登録番号 082	胴裏絹 (酵素精練)	200 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 坪金工業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社谷呉服店 代表者名 谷 重臣 福岡県筑紫野市二日市中央2丁目3-2 (担当者: 谷 重臣) TEL 092-924-5298 表示者登録番号 083	胴裏絹 (酵素精練)	500 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 精練加工 (有) 江島屋染工場
株式会社登美屋 代表者名 高橋 祥元 岩手県北上市上江釣子 18-14-1 (担当者: 高橋祥元) TEL 0197-77-2121 表示者登録番号 084	胴裏絹 (パ-ルト-ン加工)	550 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 加 工 (株) パールトーン
株式会社川平屋 代表者名 伊藤 正人 愛知県豊田市桜町2丁目34番地 (担当者: 伊藤正人) TEL 0565-32-0902 表示者登録番号 085	胴裏絹 (パ-ルト-ン加工)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 加 工 (株) パールトーン
丸専第一衣料株式会社 (丸専きもの) 代表者名 永澤 日佐夫 新潟県長岡市大手通り二丁目4番4号 (担当者: 永澤日佐夫) TEL 0258-32-9394 表示者登録番号 086	胴裏絹 (パ-ルト-ン加工)	300 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 加 工 (株) パールトーン
株式会社大丸 代表者名 山本 良一 大阪府中央区心斎橋筋 1-7-1 (担当者: 山本良一) TEL 06-6271-1231 表示者登録番号 087	胴裏絹 (錦秋×鐘和)	1000 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (有) 長島織物 精練加工 (有) 江島屋染工場
(生産履歴の追加) 株式会社坂本屋 代表者名 飯塚 康二 茨城県土浦市荒川沖西2-12-3 (担当者: 飯塚 康二) TEL 029-841-0007 表示者登録番号 005	後染反物	60 反	繭生産 茨城県南地区養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 三共織物(株) 染 色 小林染工房、(株) 菱健 (株) 路考、きもの和楽 制作企画 (株) 丸上 意 匠 自社
(製品の追加) 株式会社坂本屋 代表者名 飯塚 康二 茨城県土浦市荒川沖西2-12-3 (担当者: 飯塚 康二) TEL 029-841-0007 表示者登録番号 005	胴裏絹 (灰汁浸け加工)	120 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 丸進機業 (株) 精練加工 (有) 江島屋染工場

国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (提携養蚕農家・企業等)
(製品の追加) 株式会社京扇 代表者名 鈴木 康裕 東京都中央区東日本橋 3-6-6 パークビル 2F (担当者：鈴木康裕) TEL 03-3249-6001 表示者登録番号 061	胴裏絹 (パールトン加工)	600 枚	企 画 日本蚕糸絹業開発 (協) 繭生産 群馬県養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協 製 織 (株) カブト 加 工 (株) パールトーン
(製品数量の追加) 有限会社ミラノリブ 代表者名 笹口 晴美 群馬県桐生市本町 2-8-26 (担当者：笹口 晴美) TEL 0277-20-8801 表示者登録番号 003	ショールストール ニットタイ スカーフ ベスト トップス ボトム	500 枚 400 枚 100 枚 200 着 300 着 100 着	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 前橋市大胡町養蚕農家 製 糸 碓氷製糸農協、自社 撚 糸 東北撚糸 (株) 染 色 今井染色 (有)、自社 製 編 自社

次回以降の審査会は 9 月 10 日 (木)、11 月 12 日 (木) の予定です。
申請される方は審査会開催日の 10 日前までに申請書を提出してください。

提携支援センターから

19～21年度に承認された蚕糸・絹業提携システム概要一覧

蚕糸・絹業提携支援センター

平成21年9月1日現在、提携システム確立事業として9グループを承認しており、これら提携システムの概要（平成21年度の事業計画）を下記のとおり紹介します。

提携グループ名及び構成者	製造する絹製品	蚕品種・特徴等	対象繭生産地・生産量 (21年度計画)
<グループ167（19年度）> 養蚕農家（4戸）、宮坂製糸、織道楽塩野屋、両双、ウェイズ	絹織物 副産物（蚕沙、幼虫、蛹等）の有効利用	蚕品種：緑繭1号 （色繭（クロロフィル）の特徴利用）	京都府（250 kg） 春 蚕 70 kg 初秋蚕 80 kg 晩秋蚕 100 kg
<白繭細1号プロジェクト 開発チーム（19年度）> 高原社、養蚕農家（11戸）、碓氷製糸、宮坂製糸、芋田機業場、五十嵐商事、龍工房、矢代仁、木村和哉、三越、マルシバ	絹織物（御召）	蚕品種：白繭細1号 （細織度繭を利用し、高級絹織物製造）	長野県（1,550 kg） 春 蚕 850 kg 晩秋蚕 700 kg
<“絹を未来に”プラチナボーイ 研究会（19年度）> 養蚕農家（8戸）、碓氷製糸、芋田機業場、五十嵐商事、銀座もとじ、マルシバ	絹織物 シルクデニム	雄蚕品種：プラチナボーイ （男用きものに次ぐ製品開発）	千葉県・茨城県 （1,450 kg） 春 蚕 750 kg 晩秋蚕 700 kg
<日本蚕糸絹業開発協同組合国産 シルク研究会（19年度）> 養蚕農家（120戸）、碓氷製糸、丸進機業、カプト、山直織物、坪金工業、南久ちりめん、ワタマサ、江島屋染工場、絹小沢	絹織物（裏地等）	蚕品種：群馬オリジナル品種 （ぐんま200、新小石丸、世紀二一、上州絹星、ぐんま黄金）の活用	群馬県（20,000 kg） 春 蚕 11,240 kg 晩秋蚕 8,760 kg

提携グループ名及び構成者	製造する絹製品	蚕品種・特徴等	対象繭生産地・生産量 (21年度計画)
<蚕太開発グループ（20年度）> 養蚕農家（8戸）、碓氷製糸、マユズミ、門倉メリヤス、蜂須メリヤス、贅田シルク、JA北群馬渋川・JA前橋	シルクニット（セーター、ジャケット、靴下等）	蚕品種：蚕太 (太織度繭で洋装用ニット製品)	群馬県（700kg） 春 蚕 700kg
<富岡シルクブランド協議会（20年度）> 養蚕農家（21戸）、碓氷製糸、宮坂製糸、富岡市、富岡製糸場、JA甘楽富岡、個人作家（7人）、甘楽富岡蚕桑研究会、富岡シルクタンパク研究会、繭家	タオル、パフ、スカーフ、タペストリー等	蚕品種：ぐんま 200、 錦秋×鐘和 (富岡市産全蚕期繭全量を協議会で使用して、商品生産)	群馬県（6,080kg） 春 蚕 2,300kg 初秋蚕 1,390kg 晩秋蚕 2,390kg
<日本の繭ときもの文化を 考える会（21年度）> 養蚕農家（2戸）、碓氷製糸、南久ちりめん、高田勝、田中種	絹織物（極型小紋白生地）	蚕品種：春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和 (極型小紋に適した春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和を使用し、生産履歴 の明らかな商品販売)	群馬県（360kg） 春 蚕 180kg 晩 秋 180kg
<群馬絹文化研究会（21年度）> 養蚕農家（4戸）、碓氷製糸、東北燃糸、今井染色、ミラノリブ	洋装ニット製品	蚕品種：ぐんま 200 (純国産絹の洋装品の生産と 自社及びインターネット販売)	群馬県（1,000kg） 春 蚕 1,000kg
<日本蚕糸絹業開発協同組合 国産シルク研究会 普通蚕種部会（21年度）> 養蚕農家（52戸）、碓氷製糸、カブト、坪金工業、渡辺絹織物、番國、長島織物、江島屋染工場、絹小沢	絹織物（裏地等）	蚕品種：春嶺×鐘月、 錦秋×鐘和 (純国産の希少性を活かした 絹織物の生産)	群馬県（13,300kg） 春 蚕 5,300kg 初 秋 3,300kg 晩 秋 4,700kg

* 構成者の下線は、各提携グループの代表者（企業等）である。

提携支援センターから

〈純国産絹マークの仕掛け人は語る ②〉

純国産きものは、織り、染め等 きもの技術で差別化を図る

株式会社さが美 商品企画部

部長 鈴木英太郎さん
担当MD 池田 正 さん

今、純国産絹マークは87社（平成21年7月24日現在）承認されています。それぞれは、その中心となる企業等により本マークを適正に管理されています。今回、純国産絹マークの承認があり、実際に販売体制を企画・実施しているキーパーソンにお話を伺った。その2回目。

「黒紋付きをオリジナル商品として発表。これに純国産絹マークを添付して、(株)さが美の主要かつ基本的な商品として位置づけました。」と語る商品企画部長の鈴木英太郎さん。

大手ナショナル・チェーン店（212店舗）としてはじめて純国産絹マークの承認を得て、積極的に取り組んでいます。

この商品は、仕立上り35万円（喪服6点セット料金）で、購入されるお客様に合わせたオートクチュールとなります。一般的な商品としては、プレタポルテとして、10万円台からありますが、平均価格は、25～30万円。これに仕立て代金がかかり、40万円程度となります。今回の商品は、仕立てまで含んでおり、35万円は決して



純国産絹マークをアピールする鈴木部長（右）と
池田担当MD（左）

高くはないと自信を持って販売されています。

「単に安いものを販売するのではなく、しっかりした商品のラインナップを揃え、お客様のニーズに応える」ことが重要と鈴木部長さんは強調される。

特に、今回の商品は、白生地をお客様に見ていただき、その良さを認識いただいた上で、黒に染め上げる方法をとっています。このため、全国のお店には、商品サンプル（白生地状態のもの）と染め見本をセットにして展示し、出来上がってからお届けする方法となっています。冬物・夏物合わせて1,450反を製造しました。

「お客様のニーズを踏まえ、本年度は主要な100店舗に商品を展示して、販売を展開していきたい」と池田MDさんは、販売戦略を説明。

すべての販売員に純国産絹製品の商品知識を

さが美は、店長会議などで、日本の蚕糸業の現状、純国産絹製品への取組の重要性

などを認識するようにしています。

「お客様の声を商品に反映するばかりでなく、店長・販売員が自ら純国産のきもの販売のための勉強、理解を深めるよう指導しています。」と鈴木部長。 このため、国内の養蚕農家・繭生産量の減少が危惧されてもいます。

「養蚕農家の皆さんも高齢化が激しいと聞いています。繭・生糸の確保ができるのか、生糸価格がどうなっていくのか、心配な点があります。」と。

最終的には繭・生糸に助成措置がなくなるため、継続的に販売していくために高い価格設定を行うことはできません。適正価格を決定するにあたっては、店舗で、お客様に十分説明と理解を得ることが必要となります。

このため、さが美では、お客様とのコミュニケーションツールとして【四季のきものだより】を発刊、その中で純国産の特集も連載し、お客様に国内養蚕の現状などをお知らせしています。

消費全体が冷え込む中、売上も楽ではないが、客数は同規模前年に、あと少しのところまで来ているといいます。

次期商品にもマークをつける

「第一に重要な点は、マークに対する信頼性を確保することと思います。」と鈴木部長さん。そのためには、お客様とのコミュニケーションを重視しています。前述したとおり、販売員の教育はもとより、さが



お客様に白生地を見ていただき黒に染める

美自社全体の統一したフリーペーパー【四季のきものだより】などがそうです。

今回の純国産絹マークを添付するにあたり、「ものづくり」の情報の入手ができやすくなったといいます。

以前では、国内養蚕業の状況などはあまり気にも留めていませんでしたが純国産の商品化を進めるにつれて、現状が見えるようになりました。流通経路の短縮化が図られたのもそのおかげです。結果的に、きもの等の価格の中間マージン等が削減され、お客様への提供価格が安くなってきています。生産履歴などの効果ともいえます。

一方、鈴木部長さんは、業界や蚕糸・絹業提携支援センターに対し、一般の方々に対する宣伝活動の強化を求めています。今後の課題ともなっています。

「次期の商品開発を行っていきます。純国産絹製品は、店頭販売の主力商品としていく考えであり、全店舗展開を基本としています。」と鈴木部長さん。販売を積極的に行う考えです。

純国産絹製品は、各店舗で展示し、より多くの商品を見ていただく段階から「多くの商品をお客さまに支持をいただく」ことが重要となっています。

今後も安定的に純国産絹織物を提供していくためには、「国産繭・生糸の安定的な供給体制の確立」が大切となります。

優良な繭の供給、これを原料とする生糸、絹織物、そして、消費者に喜ばれる商品の提供と川上から川下までの連携した事業体

の確立が急がれます。

さが美では、独自の着物着付け教室の展開などきもの普及、また、既存店舗での特別な期間を設けて【お手入れキャンペーン】の実施、きものリメイクに力を入れ呉服の需要喚起などを積極的行っています。

今後のさが美の販売力に期待し、純国産絹織物の普及の先頭に立っていただきたいと思います。



さが美オリジナル純国産黒紋付

今月の話題

10 月は、日本橋に注目 ～第 1 回「日本染織文化博覧会」を開催～

京丹後市企画総務部企画政策課

課長補佐 高橋 尚義

(日本染織博覧会開催実行委員会企画委員)

今年 10 月 21 日（水）～ 28 日（水）の期間、東京・日本橋において、日本の代表的なきものの織物・染色技術を様々な形で紹介する「日本染織文化博覧会」が開催されます。

主催は、和装関係全国 7 団体で構成する日本染織博覧会開催実行委員会。東京・日本橋周辺エリアを会場に、全国各地の伝統ある染織作品を多くの方にご覧いただくとともに、和装の美ときものを着る楽しさを様々な形で体験していただくことで和装ファンを増やし、日本の技としての和装産業の振興を図ることをねらいとしています。

これまでの和装産業に関する振興策は、個々の業界団体がそれぞれ知恵を絞り、同時に、多くの業界関係者もまたそれぞれに長期的な展望を持ち、「産地求評会」「きものまつり」「きものフェスタ」などの名前やイベント規模も大小ある中で、全国各地で努力を重ね展開されてきました。

しかしながら、和装需要に対する社会的ニーズは年々縮小し、また平成 18 年夏の大手呉服チェーンの倒産以降は、過量販売や与信問題から和装業界に対する不信感が急速に高まり、これらの影響からか、呉服小売における主力の催事販売に対しては、集客力の低下など、結果として、国内和装市場は極端なまでに需要不振を迎え、急速に市場は縮小してしまっています。

また、このような市況は、生産現場においても生き残りをかけた熾烈なコスト競争

をさらに助長しているところで、過当競争が生じているところです。これらの状況は、将来的には技術の喪失、関連産業の縮小や消失へとつながり、和装文化そのものの衰退にまでをも影響してしまいかねません。業界全体にとっても、将来を担う後継者に対して夢や希望を託すこともできず、それはわが国の文化そのものに影響を与え、日本が育んできた真の豊かさを生み出すシステム（日本様式、和文化）すら失う危険性をはらんでいる状況にあります。

このような中で、今日においてもこれまでのような業界団体や関係者がそれぞれに独自に策を講じることでは、和装産業の再生に向けての大きなウェーブを生み出すことは困難な時代となっているように思われます。和文化を次世代へと継承していくた

めにも、これまでの和装業界内はもとより関係業界が広く連携し、振興策を図っていく必要があります。さらに、少しでも体力のある今だからこそ動き出さなければ、立ち直ることすらもできなくなるとも言われてもいる中で、国内関係者・関係団体が一

丸となって、対処し再生を果たすことが今日において求められている課題であると思っています。

幸いにして、和装産業には、「素材から各工程に込められたこだわり」「長い伝統



昨秋開催の「きもの・和・日本橋イベント」きもの姿で日銀前大集合（三井不動産（株）提供）

の中で培われ受け継がれてきた匠の技や、海外にはない日本だけの色彩や生地の方合いなど、和装以外の産業にとっても貴重なデザインソースが存在」しています。まさに、平成 19 年 5 月、産業構造審議会繊維産業分科会が打ち出した繊維ビジョン『繊維産業の展望と課題』にもこのことが明示され、「着物の魅力が消費者に適切に伝えられれば、和装とこれを支える産業は、今後も日本の中に生き続けていける」と記されています。

今回の「日本染織文化博覧会」は、社会経済情勢も非常に厳しい中で、和装産業の土台ともなるべく経済産業基盤の土台を再構築するきっかけとなり、その延長線上には、国内和装産業の振興とともに、国民の「和」に対する興味を提供する場ともなります。

また製造業界・流通業界により構成している主催団体のみならず、日本橋を会場としたことで、地域的な取組みとして、日本を代表する老舗百貨店である日本橋高島

屋、日本橋三越本店もこれらの動きに同調し、製造―流通―小売業界が一丸となって取り組む画期的なイベントともなっています。さらに、「東京発日本ファッションウィーク（J F W）」が同じ日程で六本木・青山・表参道周辺で開催されていますので、J F W の関連イベントとして位置づけられ、和装ファッションを世界へ向けて P R する絶好の機会でもあります。

「日本染織文化博覧会」は、日本の首都としての「東京」、また江戸文化創生の地「日本橋」が開催地。この地から国内外への和の文化を打ち出し、和装産業の再生を図るには地域的にもメリットも大きいと思います。このイベントにより、産地の特色・魅力が多くの人々へ正しく伝わり、和装の美をまとうことの楽しさを多くの方が感じ取る中で和装ファンが増え、結果として国内和装産業の振興・再生の糧となることを期待しています。

多くの方のご参加をお待ちしています。

■問い合わせ先

日本染織博覧会開催実行委員会 担当：嶋田

（日本織物中央卸商業組合連合会内）

TEL: 03-3663-2101 E-mail: tafs@blue.ocn.ne.jp

URL: http://www.orishoren.com/kimono_nihonbashi/index.html

●第1回「日本染織文化博覧会」

■開催期間 平成21年10月21日～28日

■開催場所 日本橋高島屋、日本橋三越本店、日本橋プラザ、マンダリンオリエンタル東京
ほか日本橋周辺エリア

■主催 日本染織博覧会開催実行委員会
(日本織物中央卸商業組合連合会、社団法人日本絹人織織物工業会、
社団法人日本絹業協会、社団法人全日本きもの振興会、社団法人日本和裁士会、
全国染色協同組合連合会、京友禅協同組合連合会)

■後援 経済産業省、農林水産省、東京都、東京都中央区、財団法人大日本蚕糸会、
一般社団法人日本ファッションウィーク推進機構(予定含む)

■特別協賛 三井不動産株式会社

■協賛 日本橋高島屋、日本橋三越本店、産経新聞社、ワミレスコスメティックス株式会社

■特別協力 丹後ファッションウィーク開催委員会

■協力 東京織物卸商業組合、名橋「日本橋」保存会、日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、
日の丸自動車興業株式会社、日本橋美人博覧会実行委員会

■会場協力 マンダリンオリエンタル東京

□イベント内容(予定)

◎「日本染織紀行」(10/23-25・日本橋プラザ会場)

国内各産地から作り手が集まり、こだわりの自信作を展示。作り手の声を聞くことができ
る貴重な機会

◎「染織の芸術展」(10/21-28・日本橋高島屋会場)

絹の五芸術といわれる「織・染・繡・絞・紼」の技術・技法の視点と世界でも類をみな
いデザイン性の豊かさの両面で染織の芸術性を展示

◎「きもの好日」(10/21-28・日本橋高島屋会場)

日本を代表する産地の染織品に帯、小物をコーディネートして、季節の着こなしについ
て分かりやすく提案

◎「純国産絹展」(10/21-28・日本橋高島屋会場)

日本の繭から始まる数々の純国産絹製品を展示。養蚕から製糸・製織・加工までの製作
工程のパネル展示と各工程の製作工程展示

◎「日本絹文化シンポジウム～絹で奏でる音の世界～」(10/23・日本橋本店)

幻想的で、清明な音の世界を秦琴奏者の第一人者が演奏。秦琴には、希少となった純国
産の絹糸弦を使用。音で織りなす絹文化を紹介

◎「Kimono Fashion Week in 日本橋」

かつて、最先端のきものファッションの発信拠点であった日本橋から、再び未来へつながっていく日本の美を感じることができる

- ・「きもの・和・日本の美」(10/23・マンダリンオリエンタル東京)

各地の伝統染織の新作ファッションショー。美しい四季のイメージ映像を背景に、ストーリー性豊かなショーを開催

- ・「きものコーディネート大賞授賞式」(10/23・日本橋三越本店)

素敵なきもの姿の方に「きものコーディネート大賞」を授与

- ・「東京きものの女王コンテスト」(10/25・日本橋三越本店)

東京を代表する「きものの似合う女性」を選出するコンテスト。今年で43回目。女優の和由希子さん、俳人の黛まどかさんが歴代女王

◎「日本橋きもの絵巻」

- ・「きものパレード」(10/25・日本橋京橋まつり「大江戸活粋パレード」協力)

事前申し込みの500名のきもの姿が、決定したばかりの「東京きものの女王」とともに、中央通りをパレード。パレードの後は、日本橋三越屋上にて大集合写真撮影会を開催

- ・「きものフォトセッション」(10/25・日本橋界限)

プロカメラマンによる撮影。撮影当日にプリントしてプレゼント

- ・「日本橋茶会」(10/25・日本橋プラザ)

- ・「きものステーション(無料着付け)」(10/25・日本橋三越新館&日本橋プラザ)

無料できもの着付けしてもらえるコーナーを設置

★その他、日本橋周辺での同時開催イベント

- ・三越きものフェスタ(10/14-27・日本橋三越本店)
- ・江戸で彩る日本橋-Japan Beauty from EDO-Tokyo-第2回日本橋美人博覧会(10/23-11/10・日本橋エリア)
- ・第37回日本橋京橋祭り～大江戸活粋パレード～(10/25・中央通り)
- ・日本橋秋のお江戸まつり(10/25・日本橋プラザ)

国内情報

絹織物の集散地を核とした和装繊維産業の 工程間連携に関する調査報告書から（2）

経済産業省 近畿経済産業局

3. 製造・流通体制の状況

(1) 工業統計表に見る和装製品の生産動向

経済産業省の「工業統計表」によれば、2006年の和装製品製造事業所数は420事業所、10年前の1997年と比べると、230事業所減少している。同様に従業員数は2006年が5,267人なのに対し、1997年は8,103人で、2,836人の減少、製造品出荷額等は2006年40,254百万円、1997年と比べ28,680百万円減少している。

1997年の事業所数、従業員数、製造品出荷額等を100とすると、2006年時点で事業所数は64.6、従業員数は65.0、製造品出荷額等は58.4となり、1997年に比べ、事業所数、従業員数、製造品出荷額等のすべてで35～40%程度減少している。

このように、和装製品製造業は非常に厳しい環境に置かれていることが分かる。

和装製品製造業

(単位:事業所、人、百万円)

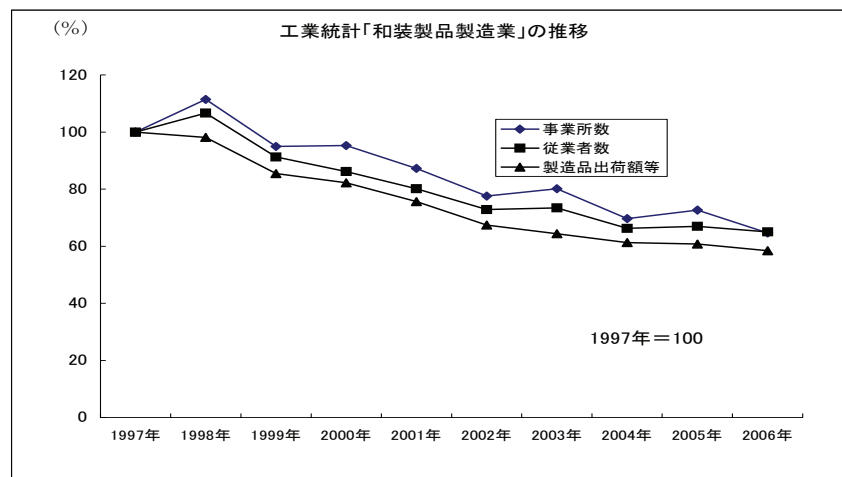
	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
事業所数	650	724	617	619	567	504	521	453	472	420
従業員数	8,103	8,638	7,392	6,982	6,493	5,900	5,950	5,368	5,423	5,267
製造品出荷額等	68,934	67,608	58,871	56,684	52,123	46,482	44,358	42,237	41,894	40,254

資料:経済産業省 工業統計表

和装製品製造業

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
事業所数	100	111.4	94.9	95.2	87.2	77.5	80.2	69.7	72.6	64.6
従業員数	100	106.6	91.2	86.2	80.1	72.8	73.4	66.2	66.9	65.0
製造品出荷額等	100	98.1	85.4	82.2	75.6	67.4	64.3	61.3	60.8	58.4

工業統計表より作成



(2) 繊維・生活統計年報に見る絹・絹紡織物の生産動向

経済産業省の「繊維・生活用品統計年報」によれば、2007年の絹・絹紡織物の広幅の生産量合計は5,215千㎡、小幅で7,709千㎡で、2006年と比べ広幅合計は890千㎡のマイナス、小幅合計は1,602千㎡のマイナスになっている。

1997年を100として羽二重類、クレープ類、広幅の先練（先染）、ちりめん類、小幅の先練（先染）、その他の後練（後染）の生産量の推移を見ると、2007年時点で羽二重類が24.4、クレープ類が26.8、広幅の先練（先染）が34.5、ちりめん類で29.2、小幅先練（先染）65.8、その他の後練（後染）20.6となり、いずれも大きく減少している。このうち最も減少しているのは、その他の後練（後染）で、次に広幅の羽二重類、クレープ類、ちりめん類の順である。小幅の先練（先染）を除き、ここ10年で60～70%減少している。

このように、国内での絹・絹紡織物の生産量が減少の一途を辿っていることが分かる。

織物一生産内訳

単位：1000㎡

年	合計	絹・絹紡織物				絹・絹紡織物			
		計 広幅	広幅			計 小幅	小幅		
			羽二重類	クレープ類	先練 (先染)		ちりめん類	先練 (先染)	その他の後練 (後染)
1997	52,031	19,104	9,311	5,764	4,029	20,614	15,998	4,616	12,313
1998	38,673	14,507	7,124	3,963	3,420	15,940	11,792	4,149	8,225
1999	33,425	11,032	5,360	2,877	2,796	15,745	11,562	4,182	6,649
2000	32,275	11,192	5,556	3,410	2,226	14,028	10,010	4,018	7,054
2001	29,801	10,933	5,518	3,365	2,049	12,664	8,842	3,822	6,205
2002	26,826	10,278	4,354	3,250	2,674	11,966	8,128	3,839	4,582
2003	23,935	8,374	3,801	2,464	2,109	11,509	7,747	3,762	4,052
2004	21,895	7,510	3,511	2,182	1,817	10,875	7,431	3,444	3,510
2005	19,816	6,669	2,965	1,903	1,801	10,298	6,980	3,318	2,849
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542

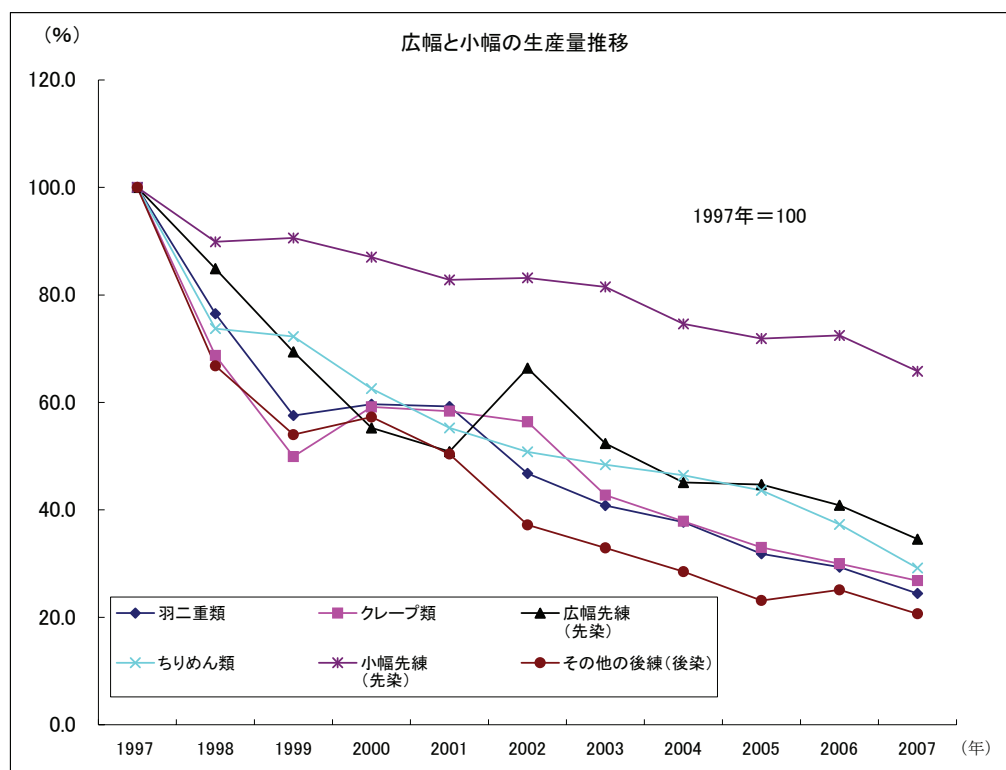
資料：経済産業省 繊維・生活用品統計年報

1997年を100とした生産量推移

単位：%

年	合計	絹・絹紡織物				絹・絹紡織物			
		計 広幅	広幅			計 小幅	小幅		
			羽二重類	クレープ類	先練 (先染)		ちりめん類	先練 (先染)	その他の後練 (後染)
1997	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1998	74.3	75.9	76.5	68.8	84.9	77.3	73.7	89.9	66.8
1999	64.2	57.7	57.6	49.9	69.4	76.4	72.3	90.6	54.0
2000	62.0	58.6	59.7	59.2	55.2	68.1	62.6	87.0	57.3
2001	57.3	57.2	59.3	58.4	50.9	61.4	55.3	82.8	50.4
2002	51.6	53.8	46.8	56.4	66.4	58.0	50.8	83.2	37.2
2003	46.0	43.8	40.8	42.7	52.3	55.8	48.4	81.5	32.9
2004	42.1	39.3	37.7	37.9	45.1	52.8	46.4	74.6	28.5
2005	38.1	34.9	31.8	33.0	44.7	50.0	43.6	71.9	23.1
2006	35.6	32.0	29.3	30.0	40.9	45.2	37.3	72.5	25.1
2007	29.7	27.3	24.4	26.8	34.5	37.4	29.2	65.8	20.6

繊維・生活用品統計年報より作成



<注>

- ・羽二重類：後練り薄地絹織物の一つ。経緯糸に無撚の生糸を用いる。現在ではレーヨン、アセテート、合繊長繊維のものが多い。
- ・先練（先染）：布を基準にして布以前の状態で染めること。
- ・後練（後染）：織編物にした後に染めること。
- ・広幅：一般織物において小幅織物よりも幅の広いもの。すなわち 45 cm 幅以上のものの総称であるが、91.4 cm 幅以上のものを指す場合もある。
- ・小幅：和装地では 36 cm（鯨尺 9 寸 5 分）幅のものをいう。この場合、並幅ともいう。一般織物では約 45.7 cm（18 インチ）幅程度までのものをいう。
- ・ちりめん：広義にはしぼのある重目の織物を和装では縮緬、洋装ではクレープと呼ぶ。

※織研新聞社：繊維総合辞典より

(3) 商業統計表に見る呉服小売業の動向

商業統計表によれば、2007 年の呉服・服地小売業の事業所数は 14,198 事業所、従業者数は 55,526 人、年間商品販売額は 672,387 百万円、売場面積は 1,257,551 m²である。1997 年の事業所数、従業者数、年間販売額、売場面積を 100 として推移を見ると、2007 年時点で事業所数計が 62.6%、従業者数で 62.2、年間販売額で 46.7、売場面積で 72.0 となり、およそこの 10 年間で約 30～55%減少していることが分かる。事業所を法人、個人別で見ると、個人事業所の方が厳しく、2007 年で 1997 年対比 55.2%とここ 10 年間でほぼ半減している。このように、呉服・服地小売業は非常に厳しい局面を迎えている。

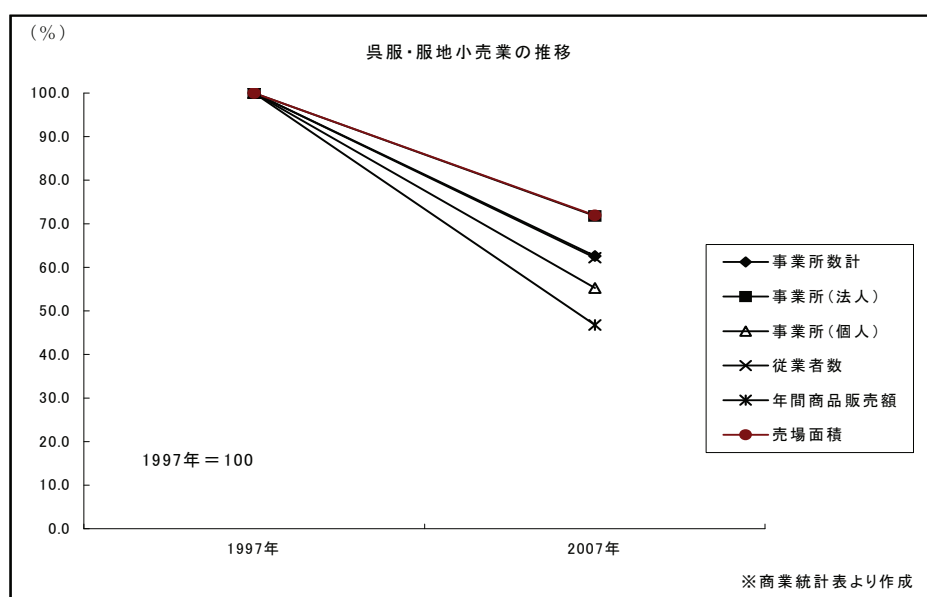
呉服・服地小売業

年次	1997年	2002年	2007年
事業所数計	22,678	17,611	14,198
事業所(法人)	10,100	8,551	7,250
事業所(個人)	12,578	9,060	6,948
従業者数(人)	89,276	71,851	55,526
年間商品販売額(百万円)	1,438,400	978,065	672,387
売場面積(m ²)	1,747,262	1,430,178	1,257,551

資料:経済産業省 商業統計表

1997年を100として見た呉服・服地小売業の推移

年次	1997年	2007年
事業所数計	100.0	62.6
事業所(法人)	100.0	71.8
事業所(個人)	100.0	55.2
従業者数	100.0	62.2
年間商品販売額	100.0	46.7
売場面積	100.0	72.0



商業統計表より作成

(4) 京都織物卸商業組合のデータによる和装関連企業・製品の動向

ー平成 19 年組合員の業態

京都は和装品の一大集散地であり、その京都にある和装関連企業の組合に京都織物卸商業組合がある。当組合は構成員から販売高、資本金、従業員数など詳細なデータを調査、分析し、毎年「組合員の業態」という冊子に調査結果を掲載している。本項ではこの調査報告書にしたがって、和装関連企業の動向をまとめる。

2008 年 3 月末時点における京都織物卸商業組合の構成員は 210 社、2007 年繊維関連販売高は 1,858 億 4,564 万円、対前年比 84.8%と減少した。和装生地小計、和装製品小計、洋装小計の品種別に見て、販売高が増加したのは洋装小計のみで 540 億 3,637 万円、対前年比 110.3%、和装生地小計は 1,068 億 6,151 万円、同 75.0%、和装製品小計 249 億 4,776 万円、同 90.2%と和装関連の販売額は減少した。

品種別販売高の推移

品種別	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額
染呉服	21,032,915	16,994,216	13,332,611	11,911,263	10,748,771	10,157,445	8,801,003	8,844,312	8,627,746	8,442,552	6,377,886
織呉服（帯を除く）	2,062,733	1,707,625	1,586,330	1,453,992	1,501,626	1,531,581	1,318,937	1,342,447	1,351,557	1,301,133	1,019,791
白生地	3,847,934	2,450,003	1,961,993	1,510,141	1,263,365	1,194,225	934,374	975,850	884,117	807,968	723,146
帯地	4,436,854	3,790,977	3,179,388	2,942,075	2,601,570	2,560,323	2,300,593	2,184,076	2,010,738	2,336,405	1,560,170
裏地	1,363,052	1,220,664	1,075,062	906,198	784,135	753,723	672,887	643,966	596,210	696,006	501,800
和装生地小計	33,327,520	26,612,632	21,598,965	19,215,059	17,303,734	16,553,425	14,429,198	14,482,648	13,977,257	14,253,088	10,686,151
和装小物*・風呂敷	3,015,227	2,537,214	2,337,612	2,251,948	2,056,416	1,906,572	1,869,507	998,308	1,706,399	1,825,975	1,653,815
和装 2 次*	1,971,210	1,722,006	1,357,599	1,290,581	1,099,256	964,004	907,193	1,798,323	939,712	940,510	840,961
和装製品小計*	4,986,437	4,259,220	3,695,211	3,542,529	3,155,672	2,870,576	2,776,700	2,796,631	2,646,111	2,766,485	2,494,776
テキスタイル全般	7,176,491	5,758,091	5,683,442	5,104,274	3,937,037	3,169,020	2,792,265	2,532,080	2,402,769	2,128,949	2,200,717
アパレル全般	6,830,684	5,729,915	5,457,112	5,122,903	3,263,246	3,045,320	2,841,535	2,716,233	2,844,340	2,769,187	3,202,920
洋装小計	14,007,175	11,488,006	11,140,554	10,227,177	7,200,283	6,214,340	5,633,800	5,248,313	5,247,109	4,898,136	5,403,637
合計	52,321,132	42,359,858	36,434,730	32,984,765	27,659,689	25,638,341	22,839,698	22,527,592	21,870,477	21,917,709	18,584,564
集計企業数	357	340	303	286	269	264	243	237	229	222	210

※寝装インテリア、その他・不明を除く

※単位：金額（万円）、%

資料：織物卸商業組合 平成 19 年組合員の業態よりホームファッション卸業、その他卸業を除き作成。

和装二次製品とは以下の品目を指す。

・和装製品：プレタきもの、子供きもの、一部ゆかたなど

・和装小物：巾着、帯バ、一部草履など

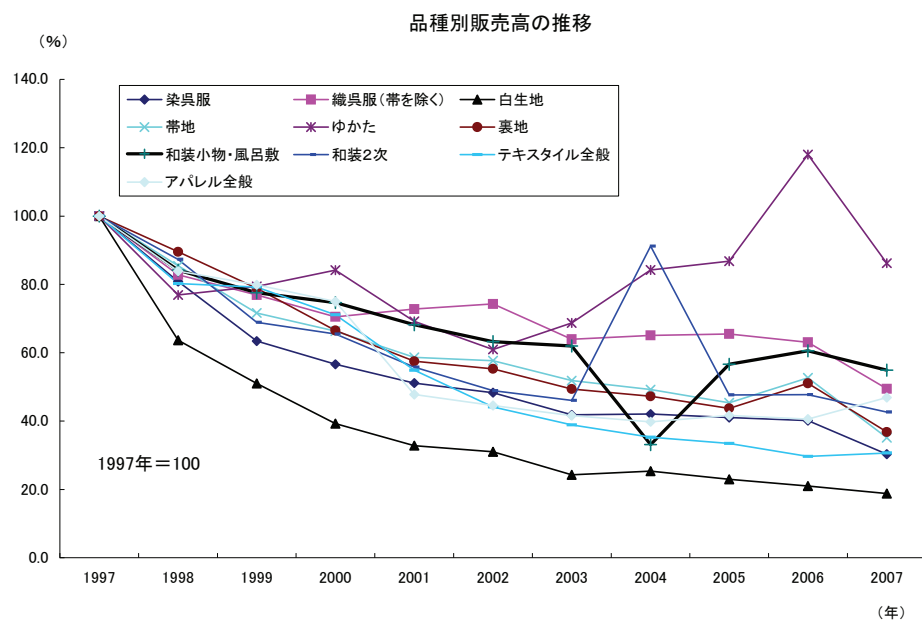
①過去 10 年の品目別販売高の推移

過去 10 年の和装製品の品目別販売額を見るために 1997 年を 100 として販売額の推移をグラフにした。2007 年時点ですべての品目で落ち込んでいる。最も落ち込んでいるのは白生地で 18.8%、次に染呉服 30.3%の大幅な減少である。織呉服（帯を除く）も 49.4%で半減している。和装品目では特に白生地が 8 割以上の減少で最も厳しい状況である。

1997 年を 100 とした販売額の推移

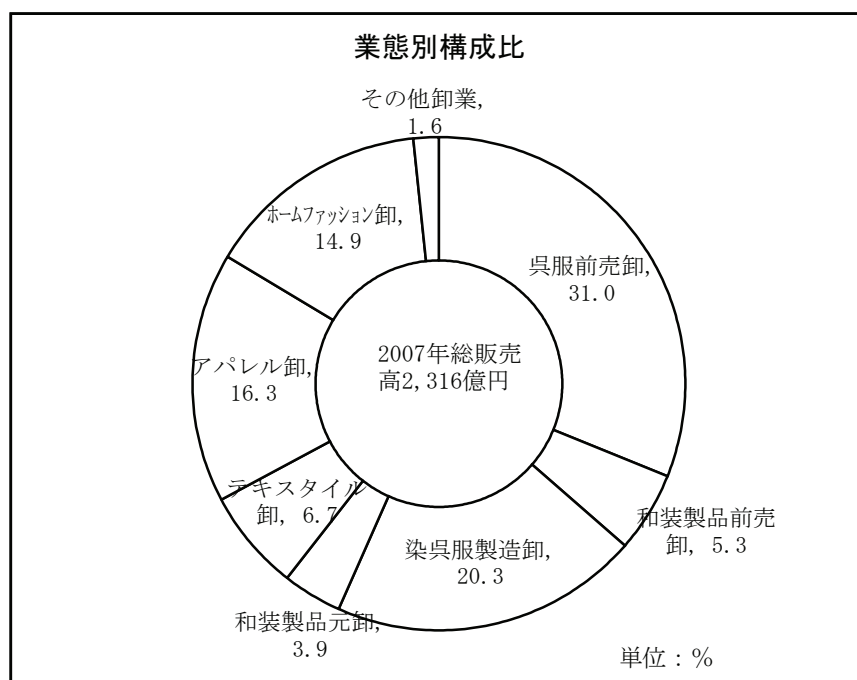
(単位: %)

	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
染呉服	100.0	80.8	63.4	56.6	51.1	48.3	41.8	42.0	41.0	40.1	30.3
織呉服（帯を除く）	100.0	82.8	76.9	70.5	72.8	74.3	63.9	65.1	65.5	63.1	49.4
白生地	100.0	63.7	51.0	39.2	32.8	31.0	24.3	25.4	23.0	21.0	18.8
帯地	100.0	85.4	71.7	66.3	58.6	57.7	51.9	49.2	45.3	52.7	35.2
ゆかた	100.0	76.9	79.4	84.1	69.2	61.0	68.7	84.2	86.8	118.0	86.2
裏地	100.0	89.6	78.9	66.5	57.5	55.3	49.4	47.2	43.7	51.1	36.8
和装小物・風呂敷	100.0	84.1	77.5	74.7	68.2	63.2	62.0	33.1	56.6	60.6	54.8
和装 2 次	100.0	87.4	68.9	65.5	55.8	48.9	46.0	91.2	47.7	47.7	42.7
テキスタイル全般	100.0	80.2	79.2	71.1	54.9	44.2	38.9	35.3	33.5	29.7	30.7
アパレル全般	100.0	83.9	79.9	75.0	47.8	44.6	41.6	39.8	41.6	40.5	46.9



②業態別の販売動向

京都織物卸商業組合構成員の和装関連の業態別売上高の構成を見ると、呉服前売卸が31%を占め、最も大きい。次に染呉服製造卸で20.3%。販売額は呉服前売卸で718億6,586万円、対前年比78.6%、和装製品前売卸122億7,218万円、同107.4%、染呉服製造卸470億7,548万円、同84.5%、このように、和装製品元卸90億6,689万円、同67.1%で、和装製品前売卸の販売額のみ前年を上回っている。



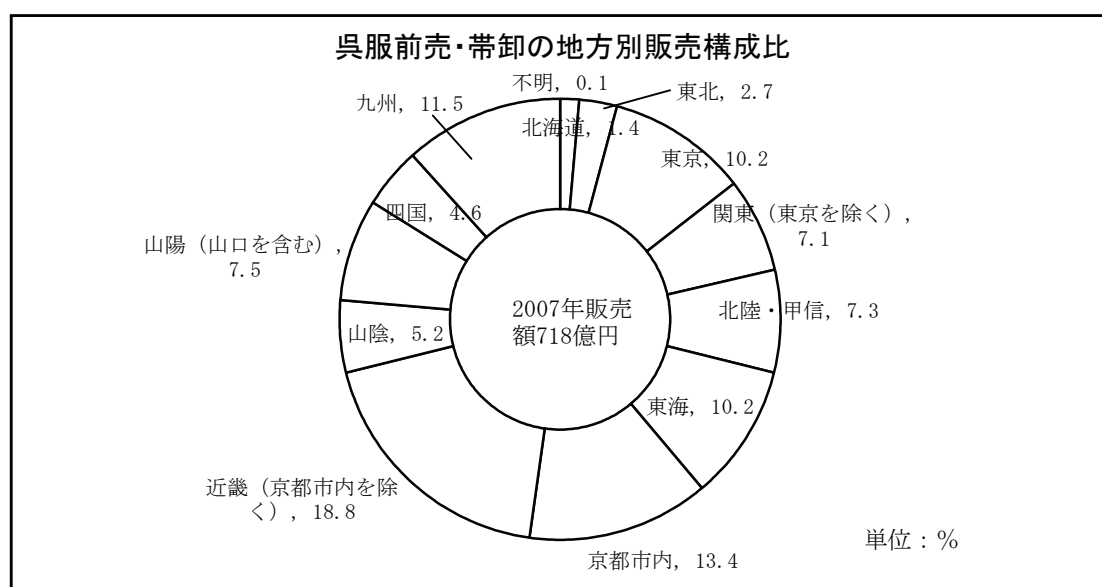
[2007年業態・業種別販売高]

業 種 別	集 計 商社数 (社)	金額構成比 (%)	総販売高 (万円)	前年比 (%)
呉 服 前 売 卸	69	31.0	7,186,586	78.6
和 装 製 品 前 売 卸	16	5.3	1,227,218	107.4
染 呉 服 製 造 卸	61	20.3	4,707,548	84.5
和 装 製 品 元 卸	18	3.9	906,689	67.1
テ キ ス タ イ ル 卸	13	6.7	1,550,018	90.2
ア パ レ ル 卸	16	16.3	3,775,808	131.2
ホ ー ム フ ァ ッ シ ョ ン 卸	15	14.9	3,445,536	91.9
そ の 他 卸 業	2	1.6	365,088	25.0
合 計	210	100.0	23,164,491	85.8

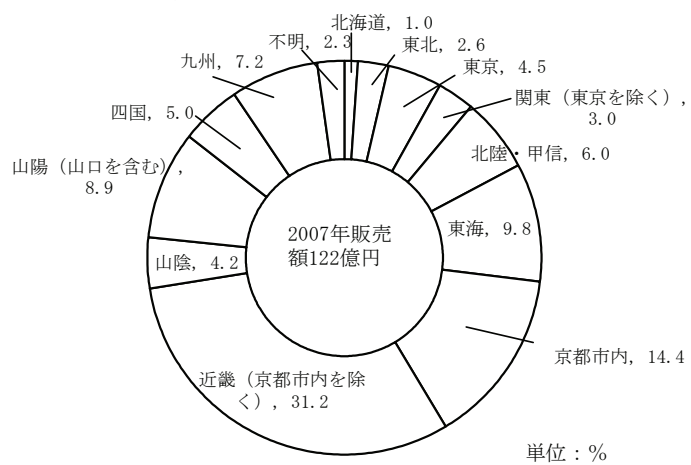
資料：京都織物卸商業組合 平成19年組合員の業態

③業態別の地方別販売構成比

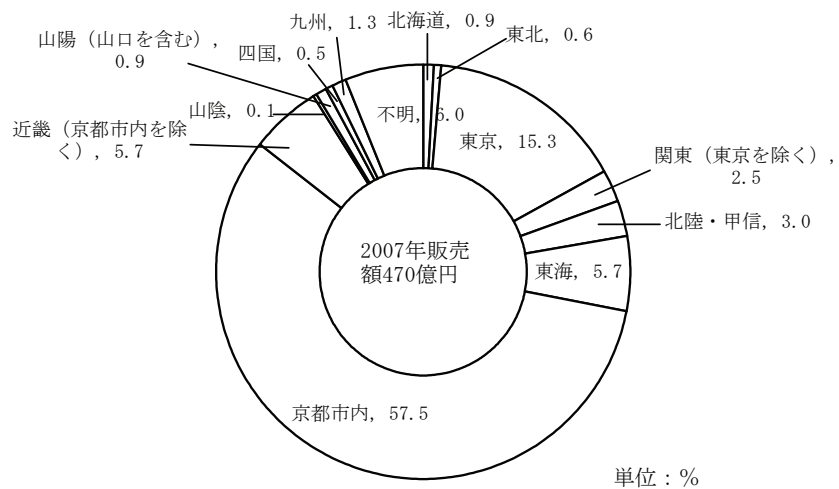
業態別の地方別販売構成比は呉服前売・帯卸で「近畿（京都市内を除く）」で 18.8%、次に「京都市内」13.4%、「東京」10.2%と続く。和装製品前売卸では「近畿（京都市内を除く）」で 31.2%、次に「京都市内」で 14.4%、染呉服製造卸は「京都市内」が圧倒的に多く 57.5%、次に「東京」15.3%、和装製品元卸は「京都市内」が 44.2%、「近畿（京都市内を除く）」20.0%で、和装製品の地方別販売先は「近畿（京都市内を除く）」、「京都市内」の2都市が多い。

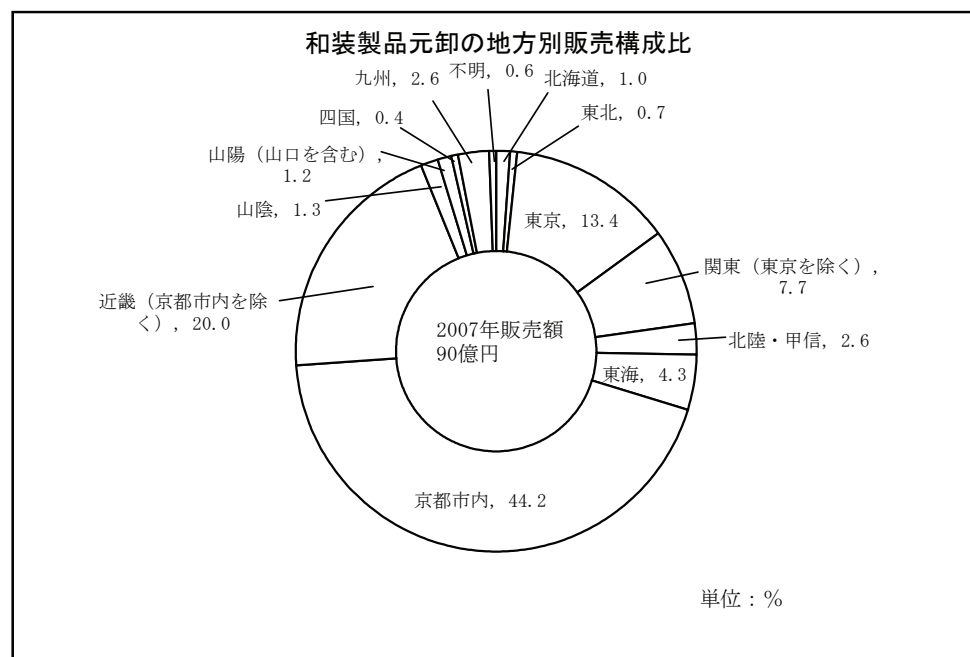


和装製品前売卸の地方別販売構成比



染呉服製造卸の地方別販売構成比





[地方別業態別 販売状況 (2007年)]

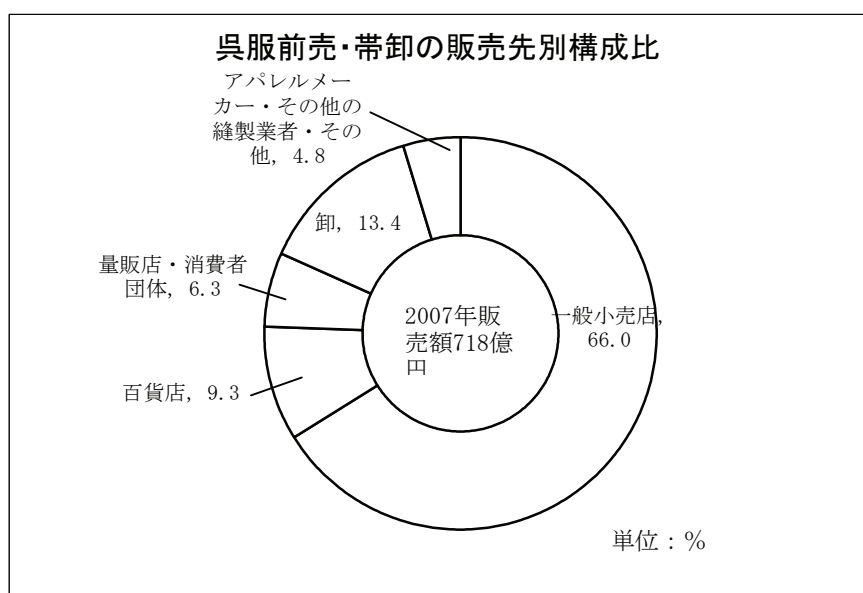
地方別	呉服前売・帯卸		和装製品前売卸	
	販売金額 (万円)	構成比 (%)	販売金額 (万円)	構成比 (%)
北海道	103,753	1.4	12,163	1.0
東北	197,172	2.7	32,316	2.6
東京	733,283	10.2	54,958	4.5
関東 (東京を除く)	508,598	7.1	36,397	3.0
北陸・甲信	525,916	7.3	74,000	6.0
東海	731,860	10.2	119,769	9.8
京都市内	961,797	13.4	176,814	14.4
近畿 (京都市内を除く)	1,347,756	18.8	382,845	31.2
山陰	374,675	5.2	51,580	4.2
山陽 (山口を含む)	540,675	7.5	109,016	8.9
四国	330,661	4.6	61,578	5.0
九州	825,372	11.5	88,098	7.2
不明	5,068	0.1	27,683	2.3
合計	7,186,586	100.0	1,227,218	100.0

地方別	染呉服製造卸		和装製品元卸	
	販売金額 (万円)	構成比 (%)	販売金額 (万円)	構成比 (%)
北海道	43,116	0.9	8,992	1.0
東北	27,394	0.6	6,464	0.7
東京都	721,147	15.3	121,129	13.4
関東（東京を除く）	118,036	2.5	70,056	7.7
北陸・甲信	138,937	3.0	23,790	2.6
東海	268,652	5.7	39,105	4.3
京都市内	2,707,806	57.5	401,114	44.2
近畿（京都市内を除く）	266,488	5.7	181,284	20.0
山陰	4,912	0.1	11,951	1.3
山陽（山口を含む）	44,695	0.9	10,681	1.2
四国	22,631	0.5	3,420	0.4
九州	59,326	1.3	23,502	2.6
不明	284,407	6.0	5,200	0.6
合計	4,707,548	100	906,689	100.0

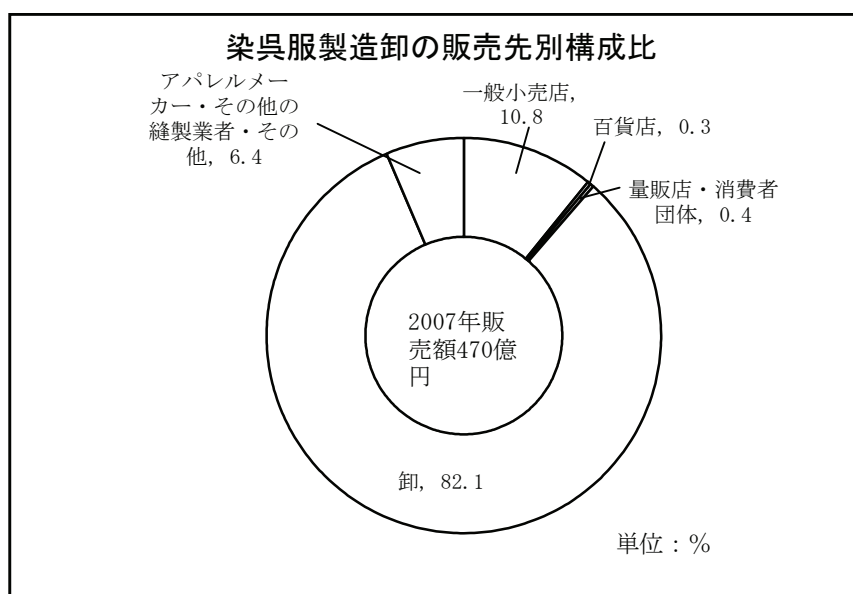
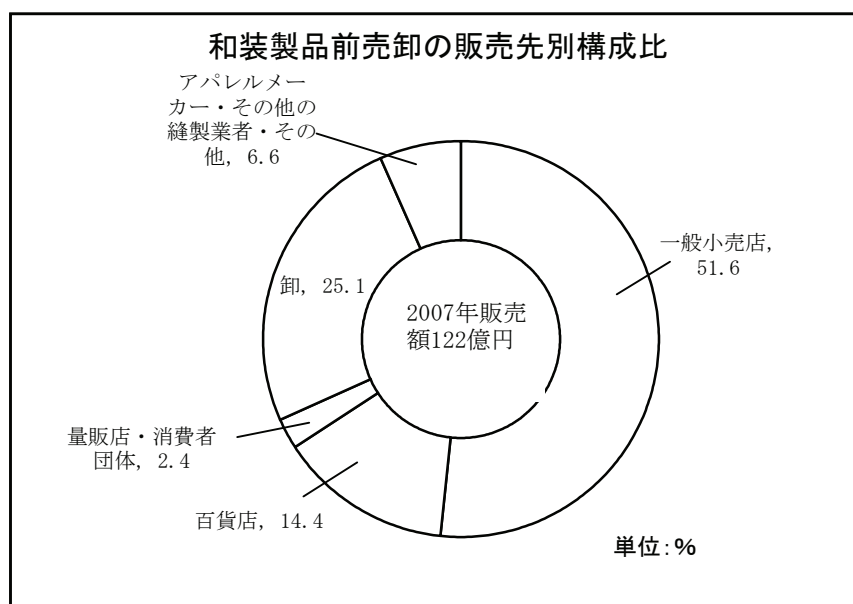
※京都織物卸商業組合「平成19年組合員の業態」

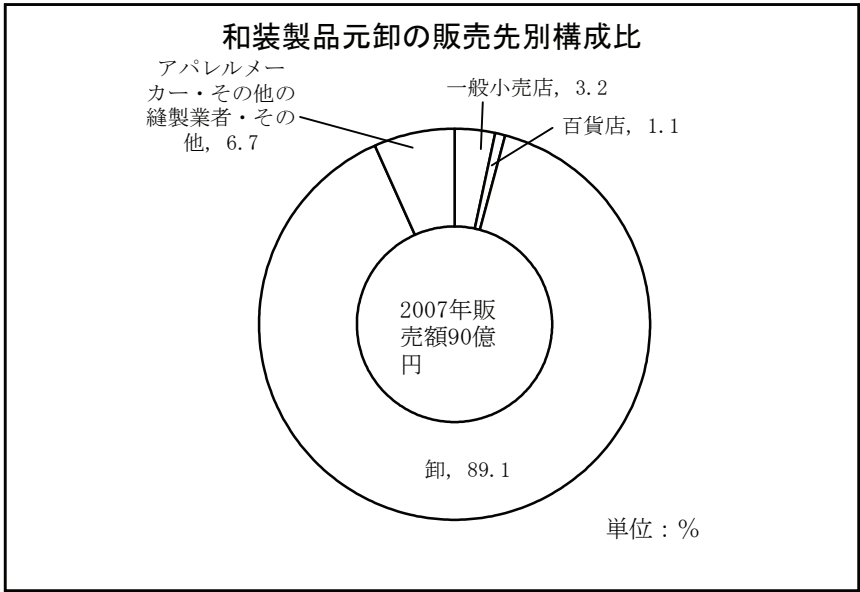
④業態別の販売先別構成比

業種別に販売先（チャネル）構成比を見ると、まず呉服前売・帯卸で「一般小売店」への販売が 66.0%を占め最も多い。次に「卸」で 13.4%。



和装製品前売卸の販売先は「一般小売店」が最も多く構成比は 51.6%、次に「卸」25.1%、染呉服製造卸の販売先は「卸」が最も多く 82.1%、一般小売店 10.8%、和装製品元卸の販売先も「卸」が最も多く 89.1%の構成比を占める。





[業態別・国内向販売先別 販売高および構成比(2007年)]

販売先		呉服前売・帯卸		
		販売高 (万円)	構成比 (%)	前年比 (%)
一般小売店	チェーン専門店	891,350	12.4	53.4
	単独専門店	3,239,327	45.1	107.4
	その他の専門店	361,889	5.0	98.3
	総合店	249,753	3.5	94.6
百貨店	京都市内	57,909	0.8	92.1
	東 京	59,647	0.8	68.1
	大 阪	181,141	2.5	89.1
	その他の地区	371,929	5.2	98.0
量販店		439,775	6.1	31.7
消費者団体		16,639	0.2	45.0
卸	京都市内卸	245,916	3.4	62.4
	その他の集散地卸	131,234	1.8	61.4
	地方卸	591,798	8.2	82.4
アパレルメーカー・その他の縫製業者		124,775	1.7	0.0
その他		223,505	3.1	66.2
合 計		7,186,586	100.0	78.6

資料：京都織物卸商業組合 平成19年組合員の業態

販売先		和装製品前売卸		染呉服製造卸		和装製品元卸	
		販売高 (万円)	構成比 (%)	販売高 (万円)	構成比 (%)	販売高 (万円)	構成比 (%)
一般小売店	チェーン専門店	121,519	9.9	339,853	7.2	4,820	0.5
	単独専門店	403,459	32.9	146,328	3.1	3,689	0.4
	その他の専門店	70,393	5.7	5,000	0.1	2,589	0.3
	総合店	38,452	3.1	17,215	0.4	18,000	2.0
百貨店	京都市内	25,511	2.1	7,463	0.2	0	0.0
	東 京	5,493	0.5	0	0.0	0	0.0
	大 阪	66,484	5.4	0	0.0	6,339	0.7
	その他の地区	77,922	6.4	7,463	0.2	3,494	0.4
量 販 店		29,306	2.4	20,219	0.4	0	0.0
消 費 者 団 体		0	0.0	0	0.0	0	0.0
卸	京都市内卸	55,446	4.5	2,579,472	54.8	389,422	43.0
	その他の集散地卸	22,963	1.9	978,410	20.8	339,533	37.5
	地 方 卸	229,887	18.7	305,982	6.5	77,845	8.6
アパレルメーカー・その他の縫製業者		7,240	0.6	0	0.0	11,747	1.3
そ の 他		73,144	6.0	300,145	6.4	49,212	5.4
合 計		1,227,218	100.0	4,707,548	100.0	906,689	100.0

資料：京都織物卸商業組合 平成19年組合員の業態

トピックス

国内産地情報

絹織物産地の概況（7月）

織物の減産は続いており先行きの見通しは立っていない

<原糸>

中国生糸市場は昨年後半の生糸価格の下落から春繭が大幅な減産となり、繭価が高騰し、日本への生糸価格も日々上昇している。しかし、我が国の織物の受注が鈍く機屋は減産継続で、原料手当は現物当用買いが続いている。

<白生地>

- ・丹後の縮緬生産は、前年対比 75.2% の大幅な減産で、集散地の仕入れが鈍く、月を追う毎に小売りの状況も厳しい。
- ・長浜の生産は、前年対比 87.9% で新規染出しが鈍くまとまった発注が入らない。集散地でも当用買いが続いており、在庫は見受けられない。
- ・五泉は、主力の駒紵に受注がなく羽二重のみが健闘している。しかし産地全体の荷動きは悪い。
- ・福島は、市況悪化で受注が減少し、生産調整を継続している。
- ・小松は、和装、洋装共に6月より更に市況が悪いが、合繊洋装には6月に引き続き注文がある。
- ・福井は、広幅羽二重は受注生産で前年比 20% の減、小幅は輸入品との価格競争で 40% 減でさらに悪化。
- ・群馬・埼玉は、新糸が出回り始め、原料糸を限定した企画ものが始動した。量的に少ないが継続できることを期待している。

<先染織物>

- ・西陣の帯は、大手産地問屋の地方催事で売上げはほぼ前年並みであったが、値頃品の比率が増し、単価がダウンで確実に採算を圧迫している。
- ・博多は、主力の紋八寸を除けば、他の商品は順調に流れており、この時期としては珍しい。
- ・十日町は、付下げが大幅な減少で全体の足を引っ張っている。振袖のみが前年同と安定している。
- ・米沢は、生産は呉服が不需要期で産地問屋からの注文も鈍く減少が続いている。服地はシーズン物の受注が早く終了。
- ・山梨は、服地も前月に引続き少ない状況が続いている。ネクタイは一部に多少の荷動きはあるが全体としてはすこぶる少ない。
- ・西陣のネクタイは、輸入完成品・生地が浸透し、日本製が減っている。

＊（社）日本生糸問屋協会月報 21.8.11 第 724 号による。

海外シルク情報

中国

中国政府・繊維振興3ヵ年計画を決定（この中のシルク振興計画）

中国国務院は、繊維産業を中国経済を支える基幹産業と位置づけ、折しも昨年下半年以降の国際金融危機に対応するため、繊維産業の安定成長と構造改革推進を目指して、本年から2011年までを期限とする繊維産業調整・振興計画を策定し、4月24日に発表した。

すでに、国内の内需拡大策として4兆元（約58兆円）の財政支出を昨年末に措置しているが、これに加えてこの振興計画では①国内外の繊維需要増進対策の推進②繊維関係技術及び設備を先進国レベルへの引き上げ③自主ブランド商品の創出支援④繊維関係輸出企業に対する金融支援等を行うこととしており、この中のシルク関係の重点事項は次のとおりである。

1、東桑西移プロジェクトを重点的に推進

これについては、シルク産業は2006年より本格的に実施してきており、生産規模はそれなりに拡大してきているものの品質等の内容が伴わないのが実態である。現在、広西自治区、雲南省等の中西部に200か所の繭生産基地が完成しており、これの規模拡大を図ると共に引き続き製糸・絹織物工場を誘致し、これらの加工技術水準を飛躍的にアップさせることとする。

2、自主ブランド商品のすみやかな育成支援

一般的に中国製品の最大の弱点は、いわゆるエルメス、シャネルなど著名ブランドが不在なことである。シルク製品でも例外でなく、現在、推進している高級シルクマークの普及・発展を推進し、有望ブランド・シルク製品の育成および自主ブランド企業の支援を積極的に行うこととしている。

3、シルク製品の輸出支援

昨年来、たびたび実施してきている輸出増値税還付率の引き上げを継続・実施する方針であり、現在、生糸類は15%に、シルク2次製品は16%まで引き上げており、（17%が限界値）これによりシルク輸出企業の採算性は大幅に向上するところであり、今後の影響が注目されるところである。

4、国家生糸買い上げ制度の充実

養蚕農家保護と製糸等支援策として生糸の備蓄枠の拡大を内容とする国家生糸買い上げ制度を充実することとする。

中国の本年度春繭生産量約 30%減産

中国の春繭生産は、4 月初旬、広東省、広西自治区からスタートし、主産地での生産、収繭作業は 6 月に集中的にピークとなり、7 月初旬には基本的に終了する。今回の春繭は、昨年後半からの国際金融危機が全体経済への影響が深まっている中でシルク大国中国が初めて迎える蚕期であり、その生産動向が注目されていたところである。

政府関係筋の発表した春繭生産統計によれば、東部地区の山東省、江蘇省、浙江省及び重慶特別市の各生産量は、順に 10,400 トン、36,600 トン、32,000 トン、5,285 トンであり、軒並み減産でその対前年減産幅は、順に 39%、32%、25%、34%である。一方、西部地区の四川省、広西自治区及び広東省については、各産地の統計数字を基にしてこの 3 産地全体の対前年の減産幅は約 30%となっている。以上、この 7 主要産地の前年度の繭生産量は全中国の 72%を占めていることからして、本年度の春繭生産量については、概ね 30%前後の減産とみることができる。

この大幅な減産の主因としては、今春の各主産地での桑園面積の減少が大きなものになっている。具体的にみると、江蘇省が 83,333 ha から 66,667 ha に減少 (減少率 20%)、浙江省 80,000 ha から 66,667 ha に (減少率 17%)、山東省 42,333 ha から 33,333 ha に減少 (減少率 21%)、広西自治区で 133,333 ha から 106,667ha に減少 (減少率 20%) とこれ以外の産地も同程度の桑園面積が減少している。これに加えて、中国シルク産業は、ここ数年、国内需要 (シルクの布団等インテリア関係が主体) が好調となっているものの、業界全体としての収益の約 70%は輸出貿易に依存しており、これが昨年後半から数量、単価、金額ともに縮小していることから、2 年前のような高い繭値段を農家に保証出来なくなってきたおり、結果として養蚕業の収益性は、野菜等他の経済作物に劣ることが伝えられてきている。

* 日本生糸問屋協会月報 21.7.14 第 723 号及び 21.8.1 1 第 724 号による。

横浜開港とシルク貿易

横浜開港の始まり

シルク博物館

元部長 小 泉 勝 夫

今年、横浜は開港 150 周年を迎えました。半農半漁の寒村であった横浜が今日のように急速に発展したのは、開港後、生糸を中心としたシルク貿易との深い関わりがあったとのこと。

今月から、この横浜開港とシルク貿易にまつわるお話を、横浜市中区にある（財）シルクセンター国際貿易観光会館シルク博物館 元部長 小泉 勝夫さんにご紹介させていただきます。

1 はじめに

横浜市は、今年、記念すべき開港 150 周年を迎え市内では「横浜開国博 Y150」を中心にいろいろなイベントが繰り広げられています。

読者の皆さんには、写真 1・2 から「横浜開国博 Y150」の様子を垣間見ていただくことができるかと思います。

横浜といえば、開港以来生糸輸出を主体に発展してきた街であります。

市内では 150 周年を記念してシルクに

関する特別展や物産展が開催されました。

これら各展示会場では、往時の生糸貿易のあゆみに食い入るように見ている来訪者の姿が多く見受けられました。

その会場の一つ、市内の赤レンガ倉庫では、5 月 25 日から 7 月 12 日まで（財）横浜開港 150 周年協会主催による「横浜につながる絹の道展」（写真 3）が開催されました。会場には横浜開港前から開港後の変遷を記した年表や横浜で活躍した生糸売込商（外国商人と直接に生糸販売した商人）



（写真 1）横浜開国博 Y 1 5 0 のベイサイドエリア
「はじまりの森」会場前



（写真 2）横浜開国博 Y 1 5 0 ヒルサイドエリアの
「つながりの森」会場内



(写真3)「横浜につながる絹の道展」会場

たちの紹介、農家の生活と養蚕とのかかわり、絹の道による生糸輸送と横浜からの西洋文化の伝播などについての展示がされました。また、長野・山梨・群馬・埼玉県とその各関係市町をはじめ八王子市・相模原市・横浜市各区の蚕糸業に関する展示や各県市等が制作した往時の蚕糸関係の映像・片倉工業株式会社提供の昭和27年制作の「日本のシルク」など、普段見ることのできない貴重な映像に、来訪者たちは釘付けになっていました。

シルク博物館では6月2日から8月30日まで、開館50周年を記念して「ヨコハマ開港とシルク展」が開催されました。

この会場では、展示と併せ「横浜開港と生糸貿易」などの講演会(写真4)も開かれました。また、会場には開港からの生糸・絹織物・絹製品等の貿易に関する歩みや横浜生糸検査所・横浜商品取引所などの蚕糸関係機関・団体等の変遷などと併せ現代の新しいシルクの取組みに至るまでのパネル展示や養蚕製糸用具・開港当初の生糸(掛田折返糸・美濃曾代糸・羽前鉄砲糸など)、



(写真4)「ヨコハマ開港とシルク展」講演会会場

生糸輸送用具、開港当初の輸出室内着、横浜スカーフなど往時のものが展示されました。

それでは、これから連載で横浜開港への道のりや開港に伴う諸問題、シルク輸出の移り変わり、外国商社(外商)との摩擦、蚕糸業の発達など、さまざまな問題や動きの概要について紹介をしていきたいと思います。

2 開港へ向けての動き

横浜が開港されましたのは、江戸時代末の1859(安政6)年6月2日(新暦の7月1日)です。

それまでは、徳川幕府が1600年代前半から実施しました鎖国政策により、オランダ、中国、朝鮮以外の諸国とは、200年余にわたり交渉を閉ざしてきました。

しかし、1800年代に入ると、ヨーロッパの列強は、アジア地域の諸国を次々と植民地化しはじめ、わが国にも強く開国を求めるようになってきました。このような時期を迎えた1846(弘化3)年、アメリカ

東インド艦隊指令長官ビッドルが浦賀に来て、わが国に開国を要求しました。しかし、幕府はこの要求を受入れませんでした。更に、1853（嘉永6）年になると、ビッドルに代わってアメリカ東インド艦隊指令長官ペリーが、軍艦4隻を率いて浦賀に現れ、久里浜に上陸しフイルモア米国大統領の国書を提出し、わが国に開国を要求しました。

幕府はペリーの強硬な交渉態度に押され、打つ手もないまま、国書を正式に受け取り、回答を翌年行う約束をいたしました。

ペリーの巨大で勇壮な黒船の浦賀来航は、たちまち各地に伝わり、おおきな騒ぎとなりました。この騒ぎは日本人の好奇心を浦賀へとかきたてたようです。

「泰平の眠りを覚ます上喜撰（蒸気船）たった四杯（四隻）で夜も寝られず」という有名な落首が今に伝えられています。上等な喜撰茶と蒸気船、お茶四杯と黒船四隻を掛け言葉にした落首で、当時の幕府や庶民の様子が、31文字の中に表現され、今の私たちにも伝わってくるような感じがします。

ところで、ペリーが来航した同じ1853（嘉永6）年に、ロシアの使節プウチャーチンも長崎に来て、開国と国境協定を要求しました。このプウチャーチンの動きを察知したペリーは、翌1854（嘉永7）年9隻の黒船で来航し、幕府に対し強硬に条約の締結を迫りました。幕府はこのペリーの軍備力と威圧に屈して、日米和親条約を締結したのです。

条約は、アメリカ船への燃料・食糧の供給、難破船や乗組員の救助、下田・箱館2港の開港、領事の駐在、アメリカに最恵国待遇を与えることなどを内容とするものでした。

アメリカと条約を結ぶと、同年8月にイギリスとも同様の内容の和親条約を締結しました。

ロシアはプウチャーチンを派遣して同年12月、下田で日露和親条約を締結しました。ロシアとの条約では、下田・箱館のほかに長崎を加えた3港を開港することにし、国境については択捉島以南を日本領、^{えとろふ}得撫島以北をロシア領、^{うるつぶ}樺太は両国の雑



（写真5）ペリーの横浜上陸
ハイネ原画石版画（横浜開港資料館所蔵）

居地とし境界を定め^{やくじょう}ないことを約定しました。

オランダとは、翌 1855（安政 2）年に同様の内容の和親条約を締結し、幕府の長期にわたる鎖国政策は、ついに崩壊してしまいました。

アメリカの総領事ハリスは、日米和親条約に基づいて 1856（安政 3）年に下田へやってきました。ハリスは着任すると、幕府に対して通商条約の締結を強く求め始めました。日本側は老中首座堀田^{まさよし}正睦が、ハリスとの交渉にあたりました。日本側はハリスの強い交渉に屈し、通商条約締結の方向に動きだし、条約調印の勅許（天皇の許可）を孝明天皇に求めました。しかし、朝廷では攘夷^{じょうい}（外国を排撃し鎖国を主張すること）の空気が強く、天皇の勅許を得ることはできませんでした。しかしながら、この時期、アジアではイギリス、フランスなどによる侵略・植民地化が進行しており、特に清国（中国）では、1840 年のアヘン戦争に敗戦し、1842 年に南京条約（香港の割譲、上海・広州など 5 港の開港、賠償金の支払いなど）を結び、その翌年には領事裁判権など治外法権や最恵国待遇などの不平等条約を結ばされました。その後、アロー号事件が起こりアロー戦争（第二次アヘン戦争ともいう）となり、イギリス、フランスによる侵略戦争に再度敗れ、1858 年に不平等な天津条約を結ばされました。ハリスはこのような列強による侵略の脅威を盾に取り、幕府に通商条約締結を迫りました。

国防力の弱い幕府としては、列強に侵略をされたならば、ひとたまりもなく植民地され、大変なことになると考えていました。大老井伊直弼^{い い なおすけ}は、何としてもこのような事態だけは避けたいと思い、大英断を下し、勅許が得られないまま 1858（安政 5）年 6 月、日米修好通商条約を締結しました。

この条約は、日米和親条約で開港されていた下田、箱館に加え神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港と江戸・大阪の開市^{かいし}（公開して商取引を行うこと）、自由貿易とすること、開港場に居留地（外国人の居住・営業を許可する地域のこと）を設けること、居留地内での領事裁判権を認めること、関税は相互に協定して決める協定関税とすることなどが主な内容になっていました。この条約の中で領事裁判権と協定関税は、わが国にとって大変不平等な条項でした。

アメリカと修好通商条約を締結するとオランダ、ロシア、イギリス、フランスとも同様の不平等条項を含む条約を結び、1859（安政 6）年 6 月 2 日（新暦 7 月 1 日）、横浜、長崎、箱館の 3 港を開港し交易を始めました。

この不平等条約に悩まされた明治政府は、条約締結以来半世紀以上の歳月をかけて交渉し、1899（明治 32）年に領事裁判制度の廃止、1911（明治 44）年に自主関税制度に漸く改正することができました。

不平等条約から開放され、諸国と対等になったわが国は、資本主義経済を確立し、貿易は大きく発展していきました。

イベント情報

イベント名	企画内容および展示内容	開催期間	場所および主催者
進化するシルクの世界 Vol. II (日本絹の里第17回企画展)	シルクは古くから人々を魅了してきました。そしてさまざまな分野で使用され、新たなシルク素材や製品を開発する研究が進められています。シルク新素材、絹タンパク質の新しい利用法、医療素材としての絹、バイオテクノロジーとカイコについて紹介します。 観覧料：一般400円(320円)、大高生250円(200円)()内は20以上の団体料金 中学生以下及び身体障害者手帳をお持ちの方とその付添1名様無料	平成21年8月22日(土)～ 9月23日(水) 午前9時30分～午後5時 休館日：毎週火曜日 (9月22日は開館)	会場・主催・お問合わせ 群馬県県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町888-1 Tel:027-360-6300 Fax:027-360-6301 http://www.nipon-kinunosato.or.jp 協力：群馬県蚕糸技術センター、 群馬県繊維工業試験場、 群馬大学、東京農工大学、 京都府織物・機械金属振 興センター、(独)農業 生物資源研究所他
公開シンポジウム 「カイコ産業の未来～新産 業を創出する遺伝子組換え カイコ～」	天の虫と書くカイコ(蚕)は素晴らしい能力を発揮するまさに天からの授かりものです。そのカイコが最新バイオテクノロジーにより、更に高度な能力を発揮し、新たな「カイコ産業」の創出に貢献しようとしています。従来の養蚕技術の上に立つ、新たな「カイコ産業」の未来に思いをはせていただきたく、左記のシンポを多彩な講師のもとに開催します。各界、各層から多数参加され、討議にも御参加願います。 参加費：無料(定員120名、当日参加もOK) 交流会：ロイヤルホテル4Fみやま(会費5,000円) 参加申し込み先：群馬県蚕糸技術センター 主席研究員 外丸修 Tel:027-251-5142、Fax027-251-5147 Eメール tomaru-os@pref.gunma.jp	平成21年9月10日(木) 10:00～17:10(受付9:30～) 交流会18:00～20:00 (会場ロイヤルホテル4F)	主催：(独)農業生物資源研究所 、群馬県蚕糸技術センター 会場：群馬県庁2階ビクターセン ター(前橋市大手町1-1-1) 問合せ先： (独)農業生物資源研究所 副研究主幹 宮澤光弘 Tel:029-838-6213 群馬県蚕糸技術センター 主席研究員 外丸修 Tel:027-251-5142
「絹の郷」群馬からのメッセージ ぐんまの絹 東京展	繭と生糸の生産量が日本一の「絹の郷ぐんま」で作られた繭・生糸を使い、伝統染織手法や最新技術を駆使して創られた、着物、帯、スーツ、ジャケット、セーター、スカーフ、靴下、シルクタオル、工芸品など純国産「群馬の絹」製品の数々を「見て・触れて・実感」していただきます。(展示即売会) 入場無料	平成21年9月11日(金)～ 14日(月) 午前10時30分～午後6時30分 (最終日は午後4時まで)	会場：ぐんま総合情報センター 「ぐんまちゃん家」 (東京都中央区銀座5-13-19 デュープレックス銀座タワー) 主催：群馬県、「群馬の絹」 活性化研究会 後援：(社)日本絹業協会 お問合わせ (財)群馬県蚕糸振興協会 Tel:027-360-6300
「京の繭 陰影礼賛三人展」	「生まれも育ちも京都」という絹糸だけを使い「柳条縮緬」「京絞り」「日本刺繍」という伝統的な技法をもって「きもの・帯の新作発表会」を開催します。 一入場無料一 ・9月19日 列品解説 午後1時「京絞り 寺田豊」 午後3時「柳条縮緬 服部芳和」 ・9月20日 講演会 定員100名(先着順)無料 第1部「人と蚕」3時から農工大 黄色俊一先生 第2部「絹の道(どう)」4時から作家真山仁氏 その後、作者3人のトークショウ「絹の文化」 ・9月21日 列品解説 午後1時「柳条縮緬 服部芳和」 午後3時「日本刺繍 森 康次」	平成21年9月19日(土)～ 21日(祝)	会場：京都文化博物館 (京都市中京区高倉通三条上ル) ・森 康次、服部 芳和、寺田 豊3人の共催作品展 お問合せ・講演会申込先： 事務局 森刺繍 Tel/ Fax:075-701-8629
蚕糸・絹文化シンポジウム	第7回東京シルク展特別企画として各界の著名講師のもとに「今だからこそ伝えよう蚕糸・絹の文化を」テーマとするシンポジウムを開催します。 入場無料	平成21年10月15日(木) 13:00～16:00	会場：成城ホール (東京都世田谷区成城6-2-1 Tel:03-3482-1313) 主催：多摩シルクライフ21研究会 共催：(財)大日本蚕糸会 連絡先：小此木エツ子 Tel:042-381-5230
「第60回記念 丹後織物 求評会」	「丹後ちりめん」をはじめとする丹後の織物総合展示会を京都にて開催し、丹後織物の技術、品質、総合力を発信する。	平成21年11月18日(水)～ 20日(金) 18日は審査会、19、20日は 展示商談会	会場 京都市下京区の京都産業会館 丹後織物工業組合 Tel:0772(68)6131

登録コーディネーター一覧

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業コーディネーター登録者一覧（五十音順）

平成21年8月6日現在

登録番号	氏 名	所属・役職名
20-067	秋 山 眞 和	綾の手紬染織工房主宰
20-052	旭 利 彦	ロード・ニジュウイチ株式会社
20-013	阿 部 末 男	岩手県養蚕活性化推進協議会代表
20-036	阿 部 雅 一	株式会社マルシバ
21-003	天 野 三 吉	富士吉田織物協同組合開発部長
21-011	碓 山 俊 光	西陣織工業組合専務理事
20-006	石 田 克 己	二十一世紀の絹を考える会世話人代表
20-019	伊 藤 公 一	株式会社伊と幸代表取締役社長
19-014	今 村 幸 文	碓氷製糸農業協同組合製造部長
20-059	宇 野 浩 嗣	京丹後市商工観光部丹後の魅力総合振興課主任
20-041	梅 田 幸 平	有限会社幸和代表取締役
19-010	遠 田 寿 之	松岡株式会社監査役
20-048	大 野 章	勝山織物株式会社
20-042	大 嶋 啓 子	株式会社 AWA - S 取締役
20-063	大 竹 史 朗	有限会社大竹商店代表取締役
21-001	岡 田 心 平	株式会社あきやま常務取締役
21-007	小 倉 進 吾	株式会社小倉商店
20-044	小此木 エツ子	多摩シルクライフ21研究会代表
21-005	小山田 勉	株式会社オヤマダ代表取締役社長
20-037	角 谷 美和子	ハクビ京都きもの学院学院長
19-005	筧 文 平	全国農業協同組合連合会副審査役
21-004	柏 木 幹 弘	有限会社カシワギ代表取締役社長
20-035	片 山 政 明	山形県養蚕産地推進員
20-049	勝 山 健 史	勝山織物株式会社専務取締役
20-064	加 藤 洋 次	株式会社加藤技術士事務所所長
19-021	門 倉 重 行	門倉メリヤス株式会社代表取締役
20-030	金 井 史 郎	東北撚糸株式会社代表取締役社長
20-025	亀 井 修 一	株式会社伊と幸営業部
19-022	川 瀬 久 弥	樋口株式会社工場長
20-043	河 田 芳 宏	河芳織物有限会社代表取締役
20-020	北 川 幸	株式会社伊と幸取締役社長室長
20-032	北 丸 豊	豊栄繊維株式会社代表取締役社長
19-019	木 下 幸太郎	株式会社マルシバ代表取締役社長
20-009	草 間 健 一	株式会社草間商会代表取締役
20-066	黒 田 秀 樹	株式会社伊と幸和装部次長
19-013	小 板 橋 広 行	碓氷製糸農業協同組合参事
20-061	小 口 和 興	株式会社帛撰代表取締役
21-002	小 林 嘉 朗	有限会社コバヤシ代表取締役
20-002	薦 田 智 昌	ロード・ニジュウイチ株式会社代表取締役
20-012	昆 野 和 夫	前いわい東農業協同組合養蚕農家指導担当

（注）標記名簿は公表を了承された方のみ掲載しております。

登録番号	氏 名	所属・役職名
20-045	境 京 子	多摩シルクライフ21研究会
20-074	佐々木 祥 一	株式会社川島織物セルコン
20-001	笹 口 晴 美	有限会社ミラノリブ代表取締役
19-012	佐 藤 信 行	松岡株式会社常務取締役
20-004	佐 藤 幸 香	「香染」工房主宰
19-011	渋谷 健 治	松岡株式会社シルク事業部課長
19-001	島 田 俊 弘	中央蚕糸協会顧問
19-006	清 水 重 人	(財)大日本蚕糸会蚕糸科学研究所所長
20-040	清 水 武 彦	(有)シンセイ(信州繭ブランド織物振興会会長)
19-008	代 田 丈 志	(財)大日本蚕糸会蚕業技術研究所上席研究員
20-018	都 木 裕 一郎	ニッケン通商株式会社生糸販売担当責任者
19-017	高 橋 耕 一	株式会社宮坂製糸所専務取締役
20-075	高 橋 弘 直	大門屋店主
20-071	竹 下 和 利	有限会社寿光織本舗取締役社長
20-076	田 中 隆	田中種株式会社代表取締役
20-065	田 中 裕 司	株式会社布四季庵ヨネオリ代表取締役
19-007	田 中 幸 夫	(財)大日本蚕糸会蚕業技術研究所副所長
20-014	俵 武 司	株式会社千總友仙工場代表取締役
21-010	知 識 勝 博	宮崎県中部農林振興局営農相談員
20-005	土 井 芳 文	絹小沢株式会社業務推進役
19-004	道 鎮 孝 雄	(社)日本絹業協会事業部長
21-008	道 明 三保子	文化女子大学文化ファッション研究機構客員研究員
20-077	堂 本 正	田中種株式会社営業部長
21-012	富 田 篤	株式会社富田染工芸代表取締役
20-053	内 藤 吉 雄	元艶金興業株式会社
20-058	永 岩 則 子	長崎絹業探究所所長
19-003	中 尾 敏 明	(社)日本生糸問屋協会専務理事
20-060	中 尾 浩 祥	株式会社丸万中尾取締役
21-006	中 澤 豊	株式会社山桜代表取締役社長
20-072	中 島 洋 一	玉川大学非常勤講師
20-057	中 野 豊	長崎絹業探究所製作担当
20-031	中 谷 比佐子	株式会社秋櫻舎代表取締役社長
20-016	西 尾 仁 志	有限会社西尾呉服店代表取締役
20-003	西 澤 厚 男	中央蚕糸協会理事
19-002	西 文 秀	中央蚕糸協会副会長
20-024	野 中 康 雄	株式会社伊と幸和装部次長
19-015	萩 原 和 憲	碓氷製糸農業協同組合総務主任
19-018	服 部 芳 和	有限会社織道楽塩野屋代表
20-056	林 太 一	昭和燃糸工業株式会社
20-038	原 田 晶 三	アンファンテリブル代表

登録番号	氏 名	所属・役職名
20-015	原 田 尹 文	有限会社ハラダ代表取締役
20-027	東 宣 江	群馬県蚕糸館主宰
20-008	兵 頭 眞 通	愛媛蚕種株式会社代表取締役
20-007	深 田 祥 二	株式会社深田商店専務取締役
20-039	福 田 隆	株式会社龍工房代表取締役
20-050	福 地 圭 一	丸八生糸株式会社
19-023	福 永 吉 穂	江一株式会社原糸事業部長
20-046	藤 井 浩 一	藤井絞株式会社取締役部長
20-069	藤 井 美登利	川越むかし工房代表
20-011	星 野 伸 男	新增澤工業株式会社代表取締役
20-055	堀 内 新 也	農業、地域（繭）マイスター
20-051	舞 鶴 一 雄	株式会社西陣まいづる代表取締役社長
20-054	前 田 勝 臣	株式会社日本クリエイティブセンター代表取締役
20-010	前 田 進	有限会社スリーエスプランニング代表取締役
20-047	松 井 慎一郎	加賀グンゼ株式会社代表取締役
20-028	松 澤 清 典	松澤製糸所
20-033	松 本 信 孝	有限会社ハック代表取締役
19-016	宮 坂 照 彦	株式会社宮坂製糸所代表取締役
20-026	宮 沢 已起代	有限会社塩野屋東京事務所スタッフ
20-022	宮 忠 光	株式会社伊と幸取締役副部長
20-021	本 橋 伸 夫	株式会社伊と幸取締役営業本部長
20-070	藪 内 猛 之	株式会社ヤブウチ代表取締役
20-078	藪 垣 茂 仁	田中種株式会社仕入担当
20-068	山 口 治 之	丹波生糸株式会社代表取締役
20-017	山 根 敏 男	松村株式会社繊維原料部部門長
20-062	吉 川 幸四郎	有限会社吉川商事代表取締役
20-073	渡 辺 健 次	渡文株式会社代表取締役専務
20-029	渡 邊 英 夫	橋本レース株式会社

純国産絹マーク使用許諾者一覧

純国産絹マーク使用許諾者一覧

平成 21 年 7 月 24 日現在

No.	企業名	同左代表者名	
1	株式会社 千總	代表取締役	西村 總左衛門
2	株式会社 織匠田歌	代表取締役	曾根 武勇
3	有限会社 ミラノリブ	代表取締役	笹口 晴美
4	株式会社 丸上	代表取締役社長	上達 征次
5	株式会社 坂本屋	代表取締役	飯塚 久二
6	有限会社 平原	代表取締役	平原 隆志
7	株式会社 信盛堂	代表取締役	神部 健一
8	株式会社 きのもアイ	代表取締役	吉澤 政敏
9	株式会社 上庵	代表取締役	川内 俊秀
10	有限会社 樹	代表取締役	須藤 勲
11	株式会社 銀座もとじ	代表取締役	泉二 弘明
12	河瀬満織物 株式会社	代表取締役社長	河瀬 仁志
13	有限会社 織匠小平	代表取締役社長	小平 真滋郎
14	門倉メリヤス 株式会社	代表取締役	門倉 重行
15	株式会社 結華	代表取締役	橋本 順一
16	株式会社 絹回廊	代表取締役	糸井 敬之
17	有限会社 琴路屋	代表取締役	北山 充伯
18	有限会社 大善屋呉服店	代表取締役	畑 恒夫
19	丸善本店		櫛田 幸造
20	呉服のささき		佐々木 孝一
21	日本蚕糸絹業開発協同組合（絹小沢 株式会社）	代表理事	小林 幸夫
22	宮階織物 株式会社	代表取締役社長	宮階 有ニ
23	21世紀の絹を考える会	代表世話人	石田 克己
24	碓氷製糸農業協同組合	代表理事組合長	高村 育也
25	丸幸織物 有限会社	代表取締役	谷口 惣一郎
26	織匠 万勝		前田 章
27	有限会社 織道楽塩野屋	代表取締役	服部 芳和
28	株式会社 丸万中尾	代表取締役社長	中尾 禧夫
29	株式会社 むらかね	代表取締役	村井 謙一
30	株式会社 高島屋	代表取締役	鈴木 弘治
31	株式会社 さが美	代表取締役社長	小野山 晴夫
32	有限会社 まるけい	代表取締役	高井 友樹
33	有限会社 特選呉服専門店後藤	代表取締役	後藤 義昭
34	株式会社 小いけ	代表取締役	小池 泰弘
35	株式会社 伊と幸	代表取締役社長	伊藤 公一
36	株式会社 四季のきものおおにし	代表取締役	大西 嘉夫
37	株式会社 和幸	代表取締役	高澤 みゆき
38	株式会社 栴屋高尾	代表取締役	高尾 弘
39	株式会社 つるや	代表取締役	金子 憲二
40	株式会社 越後屋	代表取締役	越永 高士
41	株式会社 小倉商店	代表取締役	小倉 敏行
42	柳染織工房		柳 崇
43	染織家		児玉 京子
44	草木染工房山村		山村 多栄子

No.	企業名	同左代表者名
45	手織り よおん	長嶺 亨子
46	祝嶺染織研究所	祝嶺 恭子
47	株式会社 龍工房	代表取締役 福田 隆
48	からん工房	深石 美穂
49	たわた工房	多和田 淑子
50	山音 株式会社	代表取締役社長 山田 純司
51	やまと 株式会社	代表取締役 村田 市太郎
52	株式会社 御園織物	代表取締役 加藤 賢一
53	桜井 株式会社	代表取締役 桜井 実
54	有栖川織物 有限会社	代表取締役 澤井 正弘
55	太田和 株式会社	代表取締役 太田 馨
56	株式会社 岩田	代表取締役 村田 知之
57	有限会社 神原呉服店	代表取締役 神原 和久
58	浅山織物 株式会社	代表取締役 浅山 寿栄男
59	株式会社 やまと	代表取締役 矢嶋 孝敏
60	田中種株 式会社	代表取締役社長 田中 隆
61	株式会社 京扇	代表取締役 鈴木 康裕
62	株式会社 なごみや	代表取締役 松本 成央
63	丸池藤井 株式会社	代表取締役 藤井 博夫
64	久保商事 株式会社	代表取締役 久保 義昭
65	加賀グンゼ 株式会社	代表取締役 松井 慎一郎
66	千切屋 株式会社	代表取締役 熊谷 喜治
67	荒川 株式会社	代表取締役 荒川 慶一
68	第一衣料 株式会社	代表取締役 金子 守隆
69	株式会社 紅輪	代表取締役 丸山 実
70	装いの道 株式会社	代表取締役 山中 英靖
71	株式会社 高橋屋	代表取締役 高橋 市郎兵衛
72	おお又 株式会社	代表取締役 大又 義弘
73	株式会社 天野屋呉服店	代表取締役 天野 晃作
74	株式会社 きもの潮見	代表取締役社長 潮見 憲一
75	株式会社 とみひろ	代表取締役 富田 浩志
76	株式会社 細安	代表取締役 小林 慎二
77	京和きもの 株式会社	代表取締役 高橋 忠臣
78	株式会社 まるため	代表取締役 小池 正司
79	株式会社 小川屋	代表取締役 荒木 俊
80	株式会社 エムラ	代表取締役 江村 栄治
81	株式会社 荒井呉服店	代表取締役 荒井 芳枝
82	株式会社 牛島屋	代表取締役社長 武内 保衛
83	株式会社 谷呉服店	代表取締役社長 谷 重臣
84	株式会社 登美屋	代表取締役社長 高橋 祥元
85	株式会社 川平屋	代表取締役 伊藤 正人
86	丸専第一衣料株式会社	取締役社長 永澤 日佐夫
87	株式会社 大丸	代表取締役社長 山本 良一

蚕糸関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひここの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館 “紫” (ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 ((財) 日本きもの文化協会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鍵水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
シルク染め織り館	699-5216	島根県鹿足郡津和野町池村 1997-4	0856-74-0784

蚕糸関係団体ホームページ一覧

平成 21 年 8 月 17 日現在

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シルクセンター)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会
東京穀物商品取引所

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.tafts.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>
<http://www.tge.or.jp/japanese/index.shtml>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>
(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>
(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>
(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>
(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html
(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>
(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department/bio/biofunc/index.html>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>
(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html
群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545
群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241
京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>
京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/jsss2/>

【博物館】

(財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	48
(2) 養蚕業の概要	49
(3) 養蚕農家数の推移	50
(4) 収繭量の推移	51
(5) 都府県別養蚕農家数、桑使用面積、収繭量（2008年）	52
(6) 蚕品種別蚕種製造数量（2008年）	53
(7) 生糸需給状況及び絹糸、絹織物の輸出入状況	54
(8) 生糸生産数量の推移	55
(9) 生糸の織度別生産数量の推移	56
(10) 生糸相場及び国内生糸価格実態	57
(11) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	59
(12) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	60
(13) 製糸工場の原料繭需給	61
(14) 器械製糸工場の操業状況	62
(15) 生糸在庫数量の内訳	63
(16) 蚕糸関係品目別輸入状況	64
(17) 生糸原産国別輸入状況	65
(18) 絹糸原産国別輸入状況	66
(19) 織物生産状況	67
(20) 絹人絹織物製造業者の絹織物生産状況	68
(21) 丹後、長浜、西陣の絹織物生産状況	69
(22) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	70

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	71
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	72
(3) 中国省別桑園面積、家蚕繭生産数量、生糸生産数量、製糸工場数	73
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	74
(5) 中国のシルク類（生糸、絹糸、絹織物）の輸出状況	75
(6) ブラジルの繭、生糸の生産数量の推移	76
(7) ブラジルの生糸、絹糸及び副蚕糸の内需、輸出別販売状況	77

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk-Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
昭和50年 1975	248,400	91,219	367	333.9	123	87	311.3	156,494
55年 1980	165,590	73,061	441	267.6	105	81	279.2	143,708
60年 1985	99,710	47,274	474	158.6	67	87	212.5	107,499
平成3年 1991	44,010	20,821	473	91.4	50	75	161.7	76,089
4年 1992	34,880	15,553	446	84.1	49	75	148.8	72,901
5年 1993	27,180	11,212	412	70.3	45	72	138.1	66,801
6年 1994	19,040	7,724	406	64.5	39	69	102.7	61,653
7年 1995	13,640	5,350	392	53.4	29	63	94.2	54,131
8年 1996	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
9年 1997	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
10年 1998	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
11年 1999	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
12年 2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
13年 2001	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
14年 2002	2,360	880	373	6.5	7	68	51.2	26,826
15年 2003	2,070	780	377	4.8	6	64	48.7	23,935
16年 2004	1,850	683	369	4.4	5	62	45.6	21,895
17年 2005	1,591	626	393	2.5	2	62	43.7	19,816
18年 2006	1,345	505	375	2.0	2	83	41.6	18,507
19年 2007	1,169	433	370	1.8	2	83	40.0	15,466
20年 2008	1,021	382	374	1.6	2	80	38.1	13,913
前年対比 (%)	87.3	88.2	101.1	88.9	100.0	96.4	95.3	90.0

資料・養蚕業及び製糸業は農林水産省生産局調査によるものである。

ただし、平成13年以前の養蚕業は農林水産省統計部調査である。

・絹業は経済産業省調査によるものである。平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況である。

Source: The Regional Products and Industrial Crops Division, Agricultural Production Bureau,
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling)
The Statistic Department, MAFF (Sericultural industry, before 2001)
The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills.

(2) 養蚕業の概要

Outline of Sericultural Industry

項 目 Item	養蚕農家数	桑栽培面積	桑使用面積	蚕種 掃立卵量	1箱当り 収繭量	収繭量	1戸当り 栽培面積	1戸当り 掃立卵量	1戸当り 収繭量
年 次 Year	Farm house- holds raising silk-worm	Growing area of mulberry	Harvested area of mulberry	Silk-worm eggs used	Cocoon production per box of silk-worm eggs used	Cocoon production	Growing area of mulberry per farm household raising silk-worm	Box of silkworm eggs used per farm household raising silk-worm	Cocoon production per farm household raising silk-worm
	戸 number	100ha	100ha	1,000箱 1,000cases	kg	t	a	箱 box	kg
1993	27,200	425	239	319	35	11,212	156	12	412
1994	19,000	339	173	228	34	7,724	178	12	406
1995	13,600	263	117	155	35	5,350	193	11	392
1996	7,890	193	66	87	35	3,021	244	11	382
1997	6,310	138	54	74	34	2,516	219	12	399
1998	5,070	103	44	60	33	1,980	203	12	390
1999	4,030	74	33	45	33	1,496	184	11	371
2000	3,280	59	27	37	33	1,244	179	11	379
2001	2,730	48	23	31	34	1,031	174	11	378
2002	2,360	43	22	26	34	880	182	11	373
2003	2,070	38	19	23	33	780	185	11	374
2004	1,850	34	18	21	38	683	186	11	369
2005	1,591	30	16	18	34	626	188	12	396
2006	1,345	27	14	15	34	505	198	11	375
2007	1,169	24	12	13	35	433	202	11	371
2008	1,021	20	10	11	36	382	197	10	374
対前年比 2008/07 (%)	87.3	83.3	83.3	84.6	102.9	88.2	97.5	90.9	100.8

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、農林水産省生産局調査（2002年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2002～) .

(3) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
対前年比 2008/07 (%)		87.3	88.3	84.4	86.7

資料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004) .

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～) .

(4) 収繭量の推移

Cocoon Production

項 目 Item 年 次 Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				桑使用面積 10a当たり 収繭量 (年間) Cocoon production per farm harvested area of mulberry
	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	
	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	kg/10a
1993	11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170	47
1994	7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170	46
1995	5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172	46
1996	3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173	46
1997	2,516	982	678	857	398	174	153	167	46
1998	1,980	769	588	623	390	169	157	151	45
1999	1,496	596	391	509	371	166	144	155	46
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157	47
2001	1,031	391	275	365	378	162	147	161	47
2002	880	330	231	320	373	166	134	167	40
2003	775	313	210	253	374	167	140	144	40
2004	675	256	176	243	369	158	128	157	38
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	40
2006	505	209	122	173	375	172	143	157	36
2007	433	175	110	148	371	166	152	150	37
2008	382	147	96	139	374	158	157	162	39
対前年比 2008/07 (%)	88.2	84.0	87.3	93.9	100.8	95.2	103.3	108.0	105.4
構成比 (%)	100.0	38.5	25.1	36.4					

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年、参考数値）、
農林水産省生産局調査（2005年～）。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～) .

(5) 都府県別養蚕農家数・桑使用面積・収繭量（2008年）

Farm households raising silk-worm, Harvested area of mulberry and Cocoon production by prefectures in 2008

項目 Item 県別 Each Prefecture	年計			春繭		初秋繭		晩秋繭	
	Annual total			spring silk-worm		Early autumn silk-worm		late autumn silk-worm	
	養蚕農家数	桑使用面積	収繭量	養蚕農家数	収繭量	養蚕農家数	収繭量	養蚕農家数	収繭量
	Farm households raising silk-worm	Harvested area of mulberry	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production	Farm households raising silk-worm	Cocoon production
	number	ha	t	number	t	number	t	number	t
岩手 Iwate	29	30	11.0	22	2.8	21	4.0	26	4.2
宮城 Miyagi	39	37	13.0	28	4.6	28	3.8	32	4.5
山形 Yamagata	15	24	5.6	12	2.2	11	1.3	13	2.2
福島 Fukushima	104	116	51.3	99	18.1	33	14.2	89	19.1
茨城 Ibaragi	39	30	14.5	39	5.8	32	3.8	33	5.0
栃木 Tochigi	50	86	39.4	48	14.8	35	7.4	46	17.2
群馬 Gunma	417	471	161.2	383	63.2	249	40.9	370	57.2
埼玉 Saitama	97	75	32.8	93	12.1	74	8.7	83	12.0
千葉 Chiba	13	6	3.9	12	1.4	6	0.7	10	1.8
神奈川 Kanagawa	12	..	2.3	11	0.9	9	0.6	12	0.9
山梨 Yamanashi	34	26	11.7	30	5.6	15	2.3	22	3.8
長野 Nagano	46	32	13.2	42	5.4	37	3.4	35	4.4
岐阜 Gifu	28	12	4.4	24	2.1	13	0.5	22	1.7
徳島 Tokushima	23	10	4.6	22	2.4	13	1.0	16	1.2
愛媛 Ehime	22	19	7.6	16	2.8	21	2.5	18	2.4
熊本 Kumamoto	11	4	1.3	11	0.9	6	0.2	7	0.2
その他 Others	42	14	4.0	37	1.6	10	0.7	23	1.3
全国計 Total	1,021	992	381.8	929	146.7	613	96.0	857	139.1

資料：農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(6) 蚕品種別蚕種製造数量 (2008年)

Production by Sort of Silk-worm Eggs

	2007年夏秋蚕用 for summer & autumn rearing		2008春蚕用 for spring rearing		2008夏秋蚕用 for summer & autumn rearing		合 計 Total	
	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate	箱 box	割合 rate
錦 秋 × 鐘 和	2,600	73.5			2,380	67.9	4,980	33.5
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号			2,390	30.6	360	10.3	2,750	18.5
ぐ ん ま × 200	302	8.5	1,575	20.2	210	6.0	2,087	14.1
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号			1,910	24.5			1,910	24.5
春 嶺 × 鐘 月			1,100	14.1			1,100	14.1
朝 ・ 日 × つくば・ね			100	1.3	500	14.3	600	4.0
新 小 石 丸	119	3.4	243	3.1			362	2.4
改 良 あ け ぼ の	180	5.1	80	1.0	50	1.4	310	2.1
世 ・ 紀 × 二 ・ 一	108	3.1	99	1.3			207	1.4
上 州 絹 星	101	2.9	101	1.3			202	1.4
ぐ ん ま 黄 金	14	0.4	125	1.6	3	0.1	142	1.0
芙 ・ 蓉 × つくば・ね	100	2.8					100	0.7
蚕 太			41	0.5			41	0.5
新 青 白	11	0.3	23	0.3			34	0.3
小 石 丸			24	0.3			24	0.3
合 計 Total	3,535	23.8	7,811	52.6	3,503	23.6	14,849	100.0

資 料 : 農林水産省生産局調査。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(7) 生糸需給及び絹糸、絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply and Demand Balance, Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2002	6,521	31,702	—	37,265	25,955	28,089	124	12,248	6,843
2003	4,791	30,827	1,510	34,166	25,897	33,044	183	12,544	7,111
2004	4,387	26,008	12,500	29,585	14,207	29,774	331	13,127	7,274
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,964	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,654	7,126
生糸年度 Silk Year									
2002	5,953	30,510	—	35,462	26,794	28,150	154	11,747	6,986
2003	4,517	30,411	6,635	33,333	21,754	33,261	182	13,036	7,206
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2008 - 4	160	505	—	3,444	4,732	2,220	45	1,107	644
5	155	3,574	—	3,180	5,281	2,067	73	1,068	577
6	136	1,362	—	1,603	5,176	2,087	109	1,150	608
7	137	1,517	—	1,527	5,303	2,459	26	1,147	541
8	119	1,129	—	1,231	5,320	2,311	20	916	514
9	115	1,134	—	1,185	5,384	1,979	15	941	590
10	122	1,280	—	1,823	4,963	1,451	57	885	670
11	108	682	—	967	4,786	1,518	53	809	686
12	118	684	—	1,004	4,584	1,065	9	706	525
2009 - 1	101	1,004	—	1,115	4,574	1,281	5	1,090	400
2	109	516	—	989	4,210	801	6	424	581
3	111	921	—	880	4,362	1,213	19	730	591
4	111	529	—	797	4,205	1,459	26	834	574
5	91	1,379	—	1,517	4,158	1,092	33	688	526
09.1~09.5	523	4,349	—	5,298	4,158	5,846	89	3,764	2,672
08.1~08.5	733	7,243	—	10,775	5,281	9,767	177	5,105	2,992

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量 + (A) + (B)} - {(C) + (E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on data of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries(D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸生産数量の推移

Production of Raw Silk

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

項 目 Item	生 糸 及 び 玉 糸 Raw Silk and Doupion Silk					繭品質評価機関 Cocoon Quality Grading Stations
	計 Total	器械製糸 Machine Reeling Mills	国用製糸 Domestic Raw Silk Reelers	及び &	器械玉糸 Machine Reeling Mills	
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2002	6,521	5,617		904		. .
2003	4,791	4,000		791		. .
2004	4,387	3,634		753		. .
2005	2,508	1,735		773		. .
2006	1,956	1,417		539		. .
2007	1,747	1,227		520		. .
2008	1,588	1,193		395		. .
生糸年度 Silk Year						
2002	5,953	5,128		825		. .
2003	4,517	3,735		782		. .
2004	3,868	3,110		758		. .
2005	2,024	1,329		695		. .
2006	1,794	1,285		509		. .
2007	1,762	1,231		531		. .
2008	1,378	1,108		270		. .
2008 - 4	160	115		45		. .
5	155	112		43		. .
6	136	106		30		. .
7	137	108		29		. .
8	119	91		28		. .
9	115	91		24		. .
10	122	99		23		. .
11	108	86		22		. .
12	118	98		20		. .
2009 - 1	101	83		18		. .
2	109	89		20		. .
3	111	92		19		. .
4	111	92		19		. .
5	91	73		18		. .
09.1~09.5	523	429		94		. .
08.6~08.5	733	514		219		. .

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：1. 生糸年度は6月から翌年5月までである。

2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks：1. Silk year ranges from June to May of the following year.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位 : 60kg俵)

(Unit : Bales of 60kg)

項 目 Item 年 月 Year & Month	生 糸					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
暦 年 Calendar Year	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
2002	6,521	3	429	3,178	1,937	975
2003	4,791	13	343	2,865	1,038	533
2004	4,387	2	471	2,389	948	581
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
生糸年度						
Silk Year						
2002	5,953	8	316	3,273	1,649	706
2003	4,517	7	334	2,689	955	530
2004	3,868	4	482	1,845	918	622
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2008 — 4	160	—	35	35	36	53
5	155	—	21	40	38	56
6	136	—	19	44	33	40
7	137	—	22	40	26	49
8	119	—	17	36	20	47
9	115	—	25	35	30	25
10	122	—	33	36	25	28
11	108	—	20	40	20	28
12	118	—	23	50	20	24
2009 — 1	101	1	23	34	28	16
2	109	—	29	33	20	28
3	111	—	31	42	14	24
4	111	—	32	32	21	26
5	91	0	17	25	23	25

資 料 : 農林水産省生産局調査。

備 考 : kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(10)生糸相場及び国産生糸価格実態

Raw Silk Quotations and Japanese Raw Silk Actual Condition Price

1 東京穀物商品取引所(生糸先物取引)

The Tokyo Grain Exchange (Raw Silk Futures Trading)

(1) 商況 State of Market

6 月：月初から月末まで見送り気分強く 2,306 円のバイカイに終始した。

7 月：月初から月末まで見送り気分強く 2,306 円のバイカイに終始した。

(2) 先物約定値段 Monthly Prices of Futures Contracts Traded

単位：円/kg

	限月	始値	高値	(日)	安値	(日)	終値
6 月中	6 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	7 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	8.月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	9 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	10 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	11 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	12 月限	2,306	2,306	(26)	2,306	(26)	2,306

	限月	始値	高値	(日)	安値	(日)	終値
7 月中	7 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	8.月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	9 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	10 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	11 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	12 月限	2,306	2,306	(1)	2,306	(1)	2,306
	1 月限	2,306	2,306	(29)	2,306	(29)	2,306

(3) 出来高合計及び一日平均出来高 Total Trading Volume and Daily Average Volume

単位：枚/60 kg

	出来高合計	一日平均
6 月中	263	12
7 月中	263	12

(4) 受渡高 Delivery

単位：枚／300 kg

	早受渡	期日受渡	計
6 月中	0	0	0
7 月中	0	0	0

2 現物標準値の推移 Standard Price of Raw Silk

単位：円／kg

	東京市場 Tokyo Market		
	最高 High	最低 Low	平均 Average
平成 21 年 6 月	2,310	2,310	2,310
7 月	2,310	2,310	2,310

資料:(社)日本生糸問屋協会 Source:Japan Raw Silk Dealers Association

3 国産生糸価格実態 Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／kg

織度 Size	21d	27d	31d
平成 20 年 3 月	3,997	3,565	3,445
4 月	4,373	3,625	3,459
5 月	4,059	3,750	3,431
6 月	4,325	3,761	3,479
7 月	4,173	3,795	3,577
8 月	4,481	3,741	3,499
9 月	4,386	3,794	3,540
10 月	4,363	3,885	3,539
11 月	4,140	3,809	3,461
12 月	4,087	3,883	3,403
平成 21 年 1 月	4,209	3,652	3,374
2 月	4,020	3,695	3,380
3 月	4,160	3,655	3,139
4 月	4,400	3,665	3,167
5 月	4,318	3,402	3,243

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料:(社)日本生糸問屋協会

Remarks: Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source:Japan Raw Silk Dealers Association

(11) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					二 次 The Second	輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	計 ③ Total		生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
対前年比 2008/07 (%)	94	92	100	95	115	121	95	90	96	76	—	—	83	50	98	89

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source : "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production Bureau, MAFF.

(12) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）
Breakdown of Silk Second Products Imports(Raw Silk Value Estimation)

（単位：千俵）

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2003	2004	2005	2006	2007	2008	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		3.4	2.6	2.7	3.7	3.9	2.5	64.1	1.7
	女子用外衣類 Women's upper garments		52.0	54.2	59.9	56.6	50.0	40.2	80.4	27.6
	うちブラウス Blouse of the inside		3.5	3.5	3.7	3.5	3.0	3.4	113.3	2.3
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		5.7	6.3	5.8	5.7	2.2	1.6	72.7	1.1
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		14.7	14.7	16.1	15.1	15.0	16.3	108.7	11.2
	ハンカチ Handkerchief		0.9	0.8	1.9	1.0	0.5	0.5	100.0	0.3
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.5	3.5	3.4	2.7	3.0	2.9	96.7	2.0
	ネクタイ類 Ties		26.1	26.4	25.2	21.4	21.6	20.8	96.3	14.3
	メリヤス、クロセス編物 Knit.kurose knitting		18.0	19.3	19.9	18.5	21.2	19.8	93.4	13.6
	その他の洋装類 Other western clothes		24.1	25.0	26.7	26.3	25.4	23.7	93.3	16.3
洋装類計 Western clothes subtotal			14.7	152.8	161.6	151.0	143.0	128.3	74.2	88.2
和装類計 Japanese clothes subtotal			12.8	13.5	17.4	18.4	15.5	14.7	94.8	10.1
	うち絹製の帯小物等 Silk obi accessorys of the inside		9.4	10.0	14.1	16.0	12.9	12.1	106.6	8.3
その他 Others			1.5	1.5	2.1	2.5	2.5	2.4	96.0	1.7
合 計 Total			161.7	167.8	181.0	171.9	161.0	145.4	90.3	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注）：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source:The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"
(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note :Total may not added up due to round off.

(13) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total			う ち 器 械 製 糸 工 場 Machine Reeling Mills		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks	受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year							
	2002	1, 559	2, 150	775	1, 366	1, 822	708
	2003	1, 598	1, 612	761	1, 302	1, 330	679
	2004	1, 291	1, 500	553	1, 039	1, 228	489
	2005	866	830	589	540	552	478
	2006	600	646	541	405	445	436
	2007	548	581	505	345	390	391
	2008	393	518	379	296	374	311
生糸年度 Silk Year							
	2002	1, 921	1, 972	525	1, 764	1, 674	480
	2003	1, 477	1, 554	448	1, 162	1, 273	368
	2004	1, 056	1, 280	224	794	1, 008	154
	2005	839	673	390	531	419	266
	2006	562	599	349	405	410	260
	2007	502	583	266	344	388	215
	2008	406	452	224	303	351	167
2008 —	4	14	51	319	0	35	253
	5	1	52	266	△ 1	36	215
	6	49	44	272	9	33	191
	7	117	45	343	104	34	260
	8	54	39	359	53	29	284
	9	28	37	350	27	28	283
	10	82	38	417	80	30	333
	11	60	36	486	36	28	342
	12	△ 1	37	379	△ 1	30	311
	2009 — 1	4	34	354	0	27	283
	2	△ 2	36	320	△ 2	29	253
	3	10	39	291	0	31	222
4	△ 1	36	253	△ 1	29	192	
5	1	31	224	△ 1	24	167	

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 総計は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。なお国用製糸及び玉糸製糸は乾繭重量調査のため、乾繭歩合42%にて生繭重量に換算した。

3. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. The grand total includes the material cocoons at the machine-reeling mills, reelers of raw silk for

(14) 器械製糸工場の操業状況

Activities of Machine Reeling Mills

項 目 Item 年 月 Year & Month	運轉工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
		運轉可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year						
2002	7	607	414	68	290	207
2003	6	444	285	64	290	173
2004	5	426	262	62	292	165
2005	2	203	126	62	269	83
2006	2	114	94	82	266	59
2007	2	112	93	83	266	57
2008	2	112	90	80	266	54
2007 — 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2008 — 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	2	112	93	83	23	56
	2	112	94	84	22	55
	2	112	92	82	23	55
	2	112	89	79	23	55
	2	112	92	82	21	55
	2	112	89	79	22	56
	2	112	92	82	24	60
	2	112	96	86	22	58
	2	112	94	84	22	57
	2	112	95	85	20	58
	2	112	94	84	22	57
	2	112	96	86	22	58
	2	112	100	89	23	60
	2	112	100	89	22	60
	2	112	95	85	23	60
	2	112	92	82	23	60
	2	112	91	81	21	56
	2	112	84	75	23	55
	2	112	87	78	24	55
	2	112	94	84	21	52
2	112	90	80	22	54	
2009 — 1 2 3 4 5	2	112	91	81	20	50
	2	118	89	75	21	54
	2	118	90	76	22	54
	2	118	86	73	22	50
	2	118	77	65	20	45

資 料 : 農林水産省生産局調査。

備 考 : 1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(15) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計	製糸工場	生糸市場 売買業者	生糸市場外 売買業者	生糸輸出 入業者	受 入 数 量	引 渡 数 量	在庫数量
暦 年 Calendar Year		Total	Filatures Mills	Dealers	Domestic Dealers	Ex and Importers	Accepts	Deliveries	Ending Stocks
2002	25,955	5,932	1,358	605	3,772	197	31,702	31,809	20,023
2003	25,897	8,001	1,663	235	5,784	319	30,827	32,954	17,896
2004	14,207	10,082	2,055	183	7,360	484	26,008	39,779	4,125
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
生糸年度									
Silk Year									
2002	26,794	6,771	1,837	445	4,207	282	30,510	30,617	20,023
2003	21,754	9,163	1,842	560	6,516	245	30,411	37,843	12,591
2004	7,274	7,274	1,636	50	5,170	418	20,154	32,745	—
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,158	4,158	376	15	3,266	501			
2008 — 4	4,732	4,732	310	15	3,664	743			
5	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
6	5,176	5,176	299	15	4,100	762			
7	5,303	5,303	312	20	4,245	726			
8	5,320	5,320	310	15	4,126	869			
9	5,384	5,384	302	15	4,179	888			
10	4,963	4,963	312	15	3,799	837			
11	4,786	4,786	296	15	3,687	788			
12	4,584	4,584	310	15	3,536	723			
2009 — 1	4,574	4,574	322	15	3,461	776			
2	4,210	4,210	329	10	3,261	610			
3	4,362	4,362	333	10	3,366	653			
4	4,205	4,205	361	15	3,248	581			
5	4,158	4,158	376	15	3,266	501			

資 料：農林水産省生産局調査。

備 考：製糸工場は器械製糸、国用製糸、繭品質評価機関及び玉糸製糸の合計である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

Remarks : Figures for filatures are the sum total of the closing stocks in machine-reeling filatures, reelers of raw silk for domestic use, cocoon quality appraisal stations and doupion reelers.

(16)蚕糸関係品目別輸入状況(平成16年～21年5月)

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2004～May 2009)

	単位 Unit	平成21年(2009)		平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	平成17年 (2005)	平成16年 (2004)	20年/19年 2008/07 (%)
		(5月) May	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	1,379	4,349	15,242	12,858	21,148	22,915	25,419	118.5
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	1,092	5,846	22,636	19,439	31,524	32,699	29,745	116.4
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	—	34	317	333	430	520	934	95.2
繭 Cocoon	kg	1,000	9,000	4,000	13,750	18,565	16,300	203,604	14.0
真綿 Floss Silk	kg	—	—	29,071	28,660	34,176	45,186	25,320	101.4
ペニール Peigne	kg	6,488	23,045	2,770	6,336	19,760	15,068	14,952	43.7
くず繭 Waste Cocoon	kg	2,620	10,485	23,770	17,184	1,020	3,650	6,797	138.3
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	202,220	242,082	234,894	216,422	293,373	83.5
その他の絹 くず Other Silk Waste	kg	5,010	46,410	193,125	238,507	255,951	319,072	267,341	81.0
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	14,118	79,940	450,956	532,769	545,801	878,398	607,783	84.6
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other	kg	21,862	154,563	526,662	608,270	756,065	847,200	781,454	86.6
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	236	32,426	143,585	117,265	208,913	202,901	244,557	122.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	727,344	3,804,740	11,540,335	11,355,333	12,989,059	15,999,327	13,127,009	101.6

資料：財務省関税局

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(17) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month 曆 年 Calendar Year	国 名 Country	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
		Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
2006		21. 148 (174)	14. 740 (101)	6. 181 (68)	5 (5)	222 (-)	-
	2007	12. 858 (149)	8. 804 (124)	3. 848 (25)	-	206 (-)	-
	2008	15. 242 (137)	11. 024 (102)	4. 101 (35)	-	117 (-)	-
生糸年度 Silk Year	2006	13. 460 (166)	8. 385 (119)	4. 454 (42)	5 (5)	174 (-)	-
	2007	16. 185 (93)	11. 410 (69)	4. 607 (24)	-	168 (-)	-
	2008	12. 138 (103)	8. 572 (89)	3. 435 (14)	11	122	-
2007	- 5	877 (20)	712 (15)	161 (5)	-	4	-
	6	1. 191	878	313	-	-	-
	7	798 (2)	619	179 (2)	-	-	-
	8	1. 253 (10)	947 (5)	272 (5)	-	34	-
	9	1. 289 (23)	933 (23)	308	-	48	-
	10	1. 890 (5)	1. 005	863 (5)	-	22	-
	11	1. 443 (5)	1. 109 (5)	307	-	27	-
	12	868 (21)	623 (21)	220	-	25	-
	2008 - 1	1. 041 (8)	824	213 (8)	-	4	-
	2	849 (5)	580 (5)	267	-	2	-
	3	1. 484 (14)	1. 036 (10)	448 (4)	-	-	-
	4	505	314	191	-	-	-
2008	- 5	3. 574 (29)	2. 542 (20)	1. 026 (9)	-	6	-
	6	1. 362 (5)	1. 128	233 (5)	-	1	-
	7	1. 517 (21)	1. 090 (21)	407	-	20	-
	8	1. 129 (29)	726 (15)	385 (14)	-	18	-
	9	1. 135 (21)	906 (21)	212	-	17	-
	10	1. 280	913	347	-	20	-
	11	682 (5)	512	151 (5)	-	20	-
	12	684 (10)	397 (10)	272	-	14	-
	2009 - 1	1. 004	693	309	-	2	-
	2	516	195	321	-	-	-
	3	921 (7)	820 (7)	97	-	5	-
	4	529 (10)	333 (10)	181	11	5	-
	5	1. 379 (5)	859 (5)	520	-	-	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。
2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.
2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(18) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年月 Year & Month	国名 Country	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year									
2005		32,700	292	18,977	7,550	7	—	5,867	6
2006		31,524	94	17,019	8,706	27	—	5,675	3
2007		19,439	21	11,726	4,743	12	1	2,930	7
2008		22,636	30	12,513	6,865	12	—	3,204	12
生糸年度 Silk Year									
2005		36,113	143	21,337	8,983	18	—	5,621	8
2006		21,561	78	11,212	5,735	18	1	4,518	3
2007		22,936	7	13,263	6,344	15	—	3,297	10
2008		18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2007	— 5	1,667	—	1,119	267	0	—	280	—
	6	1,711	—	1,134	409	4	—	164	—
	7	1,872	—	1,153	487	1	—	231	—
	8	1,775	—	1,154	466	1	—	154	0
	9	1,935	—	1,239	520	—	—	176	—
	10	2,222	—	1,224	638	1	—	358	—
	11	1,989	—	1,136	567	2	—	281	4
	12	1,667	—	930	371	0.4	—	365	—
2008	— 1	2,021	—	1,236	447	0	—	338	0
	2	1,769	—	853	746	0	—	170	0
	3	1,689	7	871	418	1.0	—	390	2
	4	2,220	—	1,187	660	5	—	366	2
	5	2,067	—	1,146	615	—	—	304	2
	6	2,087	23	1,302	600	—	—	161	1
	7	2,459	—	1,502	555	2	—	400	—
	8	2,311	—	1,275	753	1	—	282	—
	9	1,979	—	1,103	644	1	—	226	5
	10	1,451	—	781	462	—	—	208	—
	11	1,518	—	645	687	—	—	186	1
	12	1,065	—	609	279	2	—	174	1
2009	— 1	1,281	—	842	278	—	—	159	2
	2	801	—	253	463	—	—	65	19
	3	1,213	—	734	300	3	—	176	—
	4	1,459	—	959	317	—	—	148	35
	5	1,092	—	672	362	2	—	57	—

資 料 : 財務省関税局調査。

備 考 : kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(19) 織物生産数量

Fabric Production

(単位 : 1,000m²)

(Unit : 1,000sq. meters.)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	綿織物 Cotton Fabrics	絹織物 Silk Fabrics	絹紡織物 Spun Silk Fabrics	合成繊維 織物 Synthetic Fiber Fabrics	人絹織物 Rayon Filament and Acetate Fabrics	ビスコース スフ織物 Viscose sta- ple fabrics	毛織物 Wool Fabrics	麻織物 Bast Fiber Fabrics
暦 年 Calendar Year										
	2002	2,162,818	539,764	26,824	1,054	1,292,617	69,544	141,816	88,114	3,085
	2003	2,031,053	506,696	23,940	728	1,217,413	71,711	129,178	78,071	3,318
	2004	1,974,731	479,246	21,970	753	1,209,640	67,540	116,294	75,662	3,326
	2005	1,837,703	425,460	19,816	579	1,146,845	66,231	101,235	72,531	5,006
	2006	1,736,816	399,697	17,122	1,384	1,082,896	64,509	95,783	70,817	4,608
	2007	1,699,291	367,733	14,262	1,204	1,096,107	63,714	85,308	67,590	3,372
	2008	1,553,767	326,954	12,791	1,252	1,008,457	60,582	79,928	60,712	3,091
2007 —	4	143,211	31,386	1,241	95	91,268	5,240	7,960	5,640	382
	5	139,291	31,264	1,150	95	89,177	5,183	6,262	5,912	247
	6	143,181	31,427	1,275	98	91,959	5,338	6,963	5,922	200
	7	145,873	31,229	1,200	97	94,825	5,438	6,909	5,958	217
	8	135,738	28,823	1,036	93	88,065	5,167	6,445	5,949	161
	9	138,732	28,451	1,209	125	91,069	5,191	6,904	5,591	192
	10	145,544	29,580	1,181	111	96,040	5,567	6,863	5,974	228
	11	143,797	29,178	1,217	98	94,956	5,419	6,924	5,748	257
	12	141,698	29,412	1,196	101	93,350	5,368	6,652	5,184	436
2008 —	1	133,067	26,568	994	107	89,112	5,070	6,129	4,759	330
	2	139,973	28,262	1,198	102	92,685	5,468	7,220	4,813	226
	3	141,922	28,510	1,178	103	94,709	5,520	6,804	4,890	208
	4	139,796	28,146	1,097	103	92,890	5,553	6,518	5,135	354
	5	130,923	27,563	1,110	101	84,940	5,252	6,587	5,128	253
	6	132,067	27,370	1,159	104	85,408	5,300	6,916	5,602	207
	7	127,748	27,577	1,085	99	81,040	5,341	6,766	5,613	227
	8	118,610	25,975	931	97	75,181	4,668	6,393	5,186	179
	9	124,690	26,194	1,031	125	81,707	4,696	6,507	5,249	182
	10	125,446	27,066	1,010	113	80,493	4,709	6,675	5,149	232
	11	121,721	26,754	1,025	102	77,375	4,609	6,749	4,843	263
	12	117,803	26,970	982	96	73,917	4,397	6,663	4,347	430
2009 —	1	104,401	23,096	729	87	67,408	3,916	5,247	3,667	251
	2	99,387	21,064	879	85	63,883	3,647	6,116	3,550	164
	3	93,091	19,946	847	85	60,655	2,653	5,577	3,187	141
	4	87,492	18,426	792	42	57,489	2,015	5,346	3,154	228
	5	83,008	17,832	747	42	54,352	1,284	5,171	3,015	164

資 料 : 経済産業省調査。

備 考 : 交織を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Mixed fabrics included.

(20) 絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics by Silk and Rayon Weavers

(単位 : 1,000㎡)

(Unit : 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
1997	52,031	19,104	9,311	5,764	4,029	20,614	15,998	4,616	12,313
1998	38,673	14,507	7,124	3,963	3,420	15,940	11,792	4,149	8,225
1999	33,425	11,032	5,360	2,877	2,796	15,745	11,562	4,182	6,649
2000	32,275	11,192	5,556	3,410	2,226	14,028	10,010	4,018	7,054
2001	29,801	10,933	5,518	3,365	2,049	12,664	8,842	3,822	6,205
2002	26,715	10,277	4,355	3,251	2,673	11,855	8,030	3,824	4,582
2003	23,822	8,371	3,800	2,464	2,107	11,399	7,653	3,747	4,053
2004	21,859	7,540	3,510	2,190	1,842	10,809	7,346	3,463	3,509
2005	19,698	6,664	2,965	1,903	1,800	10,181	6,900	3,280	2,852
2006	18,153	6,104	2,734	1,728	1,646	9,194	5,882	3,312	2,855
2007	15,182	5,214	2,276	1,547	1,392	7,575	4,578	2,997	2,392
2008	13,661	4,781	2,061	1,419	1,301	6,800	4,170	2,631	2,080
2007 — 5	1,225	440	192	124	124	585	337	248	200
6	1,354	461	194	139	129	683	428	255	210
7	1,276	445	186	138	121	647	391	256	184
8	1,108	392	169	124	99	554	315	239	162
9	1,286	427	187	134	106	661	423	238	197
10	1,262	423	189	122	111	629	377	252	210
11	1,297	451	191	132	127	645	399	245	201
12	1,274	435	187	136	112	639	400	238	200
2008 — 1	1,070	394	180	114	100	501	270	231	175
2	1,269	422	183	129	110	644	407	237	203
3	1,241	419	184	125	110	634	402	232	188
4	1,171	419	189	122	108	585	360	225	167
5	1,176	421	187	121	113	579	353	226	176
6	1,240	429	190	125	114	630	403	227	181
7	1,157	400	177	113	110	562	343	219	195
8	998	337	152	95	89	507	301	205	155
9	1,100	364	156	101	107	555	342	213	182
10	1,084	385	149	123	114	538	322	216	161
11	1,094	403	158	128	117	542	343	199	149
12	1,049	391	155	124	112	524	325	199	135
2009 — 1	790	283	109	92	83	395	209	186	111
2	939	307	104	104	99	503	317	186	128
3	911	298	108	90	99	491	295	197	122
4	814	281	111	93	77	434	290	144	99
5	768	260	106	87	66	408	265	143	100

資 料 : 経済産業省調査。

備 考 : 単位以下四捨五入。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry.

Remarks : Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(21) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹人絹織物製造業者の 絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2002	26,715	89.6	1,179,219	95.1	229,272	83.7	998,239	79.1
2003	23,822	89.2	1,171,145	99.3	208,660	91.0	922,533	92.4
2004	21,859	91.8	1,119,897	95.6	189,426	90.8	780,082	84.6
2005	19,698	90.1	1,058,571	94.5	170,061	89.8	691,780	88.7
2006	18,153	92.2	912,027	86.2	132,448	77.9	598,040	86.4
2007	15,182	83.6	712,560	78.1	97,204	73.4	977,719	163.5
2008	13,661	90.0	656,889	92.2	88,401	90.9	867,559	88.7
2007 — 2	1,312	80.0	65,785	72.5	8,987	64.5	108,331	173.5
3	1,329	78.0	58,873	64.9	9,660	68.0	80,785	150.1
4	1,317	79.2	62,535	70.1	8,840	63.1	84,654	142.4
5	1,225	79.6	50,444	66.2	7,760	56.3	71,255	139.4
6	1,354	82.4	69,024	77.2	7,169	70.0	84,513	180.8
7	1,276	83.3	61,873	80.3	7,237	69.3	88,894	169.1
8	1,108	82.2	47,776	81.9	6,078	68.9	89,497	211.9
9	1,286	87.4	69,062	92.9	8,439	111.1	70,350	203.0
10	1,262	87.5	58,668	84.8	9,400	100.7	60,982	161.7
11	1,297	94.5	63,195	97.0	8,207	93.1	78,005	154.9
12	1,274	93.0	62,144	89.7	8,097	89.9	67,462	144.6
2008 — 1	1,070	92.4	38,929	90.2	7,511	102.5	56,667	60.9
2	1,269	96.7	65,845	100.1	7,288	81.1	93,343	86.2
3	1,241	93.4	65,402	111.1	7,959	82.4	78,494	97.2
4	1,171	88.9	57,356	91.7	7,964	90.1	74,391	87.8
5	1,176	96.0	55,793	110.6	6,381	82.2	67,669	95.0
6	1,240	91.6	65,862	95.4	9,352	130.5	57,541	68.1
7	1,157	90.7	53,644	86.7	7,548	104.3	84,867	95.5
8	998	90.1	46,770	97.9	5,302	87.2	66,629	74.4
9	1,100	85.5	54,846	79.4	7,416	87.8	100,298	142.6
10	1,084	85.9	49,981	85.2	7,817	83.2	62,123	101.9
11	1,094	84.3	53,365	84.4	7,973	97.1	69,923	89.7
12	1,049	82.3	49,096	79.0	5,890	72.7	55,604	82.4
2009 — 1	790	73.8	27,931	71.7	5,428	72.3	70,227	123.9
2	939	74.0	48,523	73.7	5,994	82.2	80,196	85.9
3	911	73.4	43,968	67.2	6,664	83.7	70,816	90.2
4	814	69.5	43,957	76.6	6,766	85.0	70,733	95.1
5	768	65.3	39,715	71.2	5,162	80.9	49,997	86.9
6			45,800	69.5	6,492	69.4		

資 料 : 「絹人絹織物製造業者の絹織物生産数量」は経済産業省調査。主要3産地の生産量、出荷数量は社団法人日本生糸問屋協会調査。

備 考 : 2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : The Ministry of Economy Trade and Industry and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash livings are included in sash production.

(22)全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing & footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts & sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年 比(%)	(円) Yen	前年 比(%)	(円) Yen	前年 比(%)	(円) Yen	前年 比(%)	(円) Yen	前年 比(%)	(円) Yen	前年 比(%)
暦年Calendar Year												
2003	302,623	▲ 1.1	13,967	▲ 4.1	520	21.2	5,478	▲ 4.0	2,889	▲ 2.7	1,272	▲ 4.9
2004	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2007 - 7	291,632	▲ 0.1	13,234	▲ 3.0	391	▲ 14.7	4,692	▲ 0.5	3,341	▲ 6.7	1,231	▲ 9.8
8	296,035	1.6	9,965	0.7	516	109.3	3,166	▲ 10.0	2,284	▲ 5.8	1,021	▲ 2.4
9	281,448	3.2	9,858	▲ 4.0	199	▲ 31.0	3,579	▲ 4.0	2,125	▲ 7.0	986	3.0
10	296,984	0.6	13,481	▲ 2.8	244	▲ 59.7	5,212	▲ 2.0	2,948	▲ 1.3	1,315	10.6
11	282,836	▲ 0.6	14,292	▲ 0.5	504	185.8	5,773	▲ 9.0	2,692	0.1	1,460	10.9
12	351,667	2.2	14,816	▲ 5.8	130	▲ 57.8	6,162	▲ 4.4	2,860	▲ 2.6	1,566	▲ 8.0
2008 - 1	309,826	3.6	13,981	▲ 5.6	504	35.0	6,212	▲ 3.9	2,768	▲ 7.1	1,079	▲ 1.9
2	275,565	0.0	10,215	▲ 2.7	308	▲ 41.6	4,351	▲ 6.4	1,864	▲ 1.9	894	11.2
3	312,565	▲ 1.6	14,035	▲ 0.8	128	▲ 75.0	6,445	▲ 2.6	2,482	5.3	957	8.4
4	310,695	▲ 2.7	12,778	▲ 4.1	86	▲ 52.5	4,965	▲ 7.7	2,509	▲ 3.9	984	▲ 2.5
5	288,128	▲ 3.2	12,762	▲ 4.9	211	31.6	4,635	1.3	2,840	▲ 11.7	1,123	▲ 7.7
6	281,951	▲ 1.8	11,894	▲ 13.8	123	▲ 70.1	4,206	▲ 10.0	2,934	▲ 16.7	1,081	▲ 19.8
7	298,366	▲ 0.5	13,702	3.2	341	▲ 13.1	4,634	▲ 1.5	3,637	9.1	1,346	9.7
8	291,154	▲ 4.0	9,945	▲ 0.5	769	48.6	3,124	▲ 1.5	2,259	▲ 0.7	1,060	4.1
9	281,433	▲ 2.3	10,021	1.2	221	10.9	3,667	1.6	2,094	▲ 0.6	904	▲ 7.9
10	291,504	▲ 3.8	12,755	▲ 6.0	393	61.9	4,807	▲ 8.5	2,697	▲ 8.2	1,120	▲ 14.6
11	284,762	▲ 0.5	14,547	1.3	158	▲ 68.5	6,205	7.3	2,646	▲ 1.9	1,490	2.1
12	336,976	▲ 4.6	13,644	▲ 8.4	346	168.6	5,429	▲ 12.2	2,449	▲ 14.7	1,558	▲ 0.5
2009 - 1	291,440	▲ 5.9	13,679	▲ 1.4	337	▲ 32.6	6,371	4.0	2,528	▲ 7.1	1,034	▲ 4.4
2	266,044	▲ 3.5	8,879	▲ 12.9	165	▲ 45.8	3,883	▲ 10.7	1,669	▲ 9.5	704	▲ 21.4
3	310,680	▲ 0.4	13,466	▲ 3.6	526	314.6	6,307	▲ 1.4	2,027	▲ 16.8	849	▲ 11.4
4	306,340	▲ 1.3	12,533	▲ 1.6	360	324.5	4,569	▲ 7.4	2,451	▲ 1.9	976	▲ 1.0
5	285,530	0.3	12,623	▲ 1.0	181	▲ 13.2	4,451	▲ 3.6	2,755	▲ 2.7	1,060	▲ 6.0

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4費目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau,MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing & footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts & sweaters and other items.

Year value is mean of the each month.

(1)世界主要国の家蚕繭生産高

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2001年	2002年	2003年
		トン	トン	トン
日本	Japan	1,031	880	780
中国	China	512,708	545,497	480,774
インド	India	140,000	128,000	117,000
ベトナム	Vietnam	22,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	9,916	10,238	9,966
タイ	Thailand	3,473	3,473	10,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	5,000	3,500	3,200
インドネシア	Indonesia	749	691	
トルコ	Turkey	47	100	169
ブルガリア	Bulgaria	52	50	0.3
ギリシャ	Greece	40	60	60
フィリピン	Philippines	17	28	23
主要国の計	Total	715,033	733,517	663,472

区 分		2004年	2005年	2006年
		トン	トン	トン
日本	Japan	683	626	505
中国	China	547,091	621,461	739,715
インド	India	120,000	126,000	135,000
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	8,005	7,146	8,051
タイ	Thailand	10,650	10,650	10,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	3,200	2,543	
インドネシア	Indonesia			
トルコ	Turkey	169	170	350
ブルガリア	Bulgaria	20	42	65
ギリシャ	Greece	70	70	100
フィリピン	Philippines	22	14.4	16
主要国の計	Total	730,910	809,722	934,902

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降、後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSED).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2003) and Uzbekistan (since 2002) are not reported, they are taken as the same amount as previous year because they constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産高

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2001年		2002年		2003年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	431	7,200	391	6,500	287	4,800
中国	China	62,560	1,042,700	73,585	1,226,400	83,763	1,396,100
インド	India	15,842	264,000	14,617	243,600	13,970	232,800
ベトナム	Vietnam	2,000	33,300	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,484	24,700	1,607	26,800	1,563	26,100
タイ	Thailand	1,500	25,000	1,500	25,000	1,500	2,500
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	770	12,800	630	10,500	500	8,300
インドネシア	Indonesia	110	1,800	91	1,500		
トルコ	Turkey	7	100	17	300	28	500
ブルガリア	Bulgaria	7	100	7	100	0	0
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	3	100	3	100
主要国の計	Total	85,816	1,430,100	95,802	1,596,700	104,968	1,727,100

区 分		2004年		2005年		2006年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	263	4,400	151	2,500	119	2,000
中国	China	80,231	1,337,200	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000
インド	India	14,620	243,700	15,445	257,400	16,525	275,400
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,512	25,200	1,285	21,400	1,387	23,100
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,420	23,700	1,080	18,000
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	500	8,300	395	6,600		
インドネシア	Indonesia						
トルコ	Turkey	28	500	30	500	25	400
ブルガリア	Bulgaria	3	100	6	100	5	100
ギリシャ	Greece	4.5	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	3	100	1.1	0	1.6	0
主要国の計	Total	101,935	1,699,100	109,848	1,830,800	115,602	1,926,900

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会(ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 不明な数値は空欄とした。ただし、シェアの大きいベトナム、ウズベキスタンは、前者は2003年以降、後者は2002年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2003) and Uzbekistan (since 2002) are not reported, they are taken as the same amount as previous year because they constitute high proportion of total.

(3) 中国省別桑園面積・家蚕繭生産量・生糸生産量・製糸工場数

Mulberry Farm Area, Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in Chi

省 Province	区分	桑園面積 Mulberry Farm Area (10,000ha、%)			家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05	2005	2006	対前年比 2006/05
山 西	Shanxi	0.82	1.10	135	3,913	5,602	143	196	175	89
上 海	Shanghai	0.03	-	-	408	-	-	-	-	-
江 蘇	Jiangsu	9.08	8.98	99	100,539	117,800	117	18,580	20,186	109
浙 江	Zhejiang	7.04	7.40	105	74,838	85,122	114	20,530	19,051	93
安 徽	Anhui	4.67	5.47	117	33,900	37,596	111	3,890	4,038	104
江 西	Jiangxi	1.63	1.90	116	10,577	12,110	114	1,650	1,676	102
山 東	Shandong	5.00	5.00	100	36,845	39,700	108	6,800	6,253	92
河 南	Henan	2.20	2.73	124	8,600	13,390	156	300	318	106
湖 北	Hubei	2.53	2.79	110	13,583	15,706	116	650	536	83
湖 南	Hunan	0.61	0.69	112	3,663	4,100	112	45	50	111
広 東	Guangdong	2.53	5.33	211	34,300	68,750	200	1,100	1,138	103
広 西	Guangxi	9.40	12.00	128	148,460	185,000	125	6,600	8,020	122
重 慶	Chongqing	7.93	7.93	100	31,000	23,828	77	6,500	6,490	100
四 川	Sichuan	10.67	10.67	100	77,500	77,800	100	17,510	21,914	125
貴 州	Guizhou	0.58	0.63	108	1,199	1,254	105	-	-	-
雲 南	Yunnan	5.27	6.25	119	20,095	31,477	157	1,550	1,335	86
陝 西	Shaanxi	4.80	5.00	104	20,272	18,498	91	1,775	1,657	93
甘 肅	Gansu	0.62	0.65	104	537	613	114	-	-	-
寧 夏	Ningxia	0.28	0.33	120	413	475	115	30	59	197
新 疆	Xinjiang	0.50	0.73	145	819	895	109	55	-	-
内 蒙 古	Inner Mong	-	-	-	-	-	-	-	208	-
合 計	Total	76.20	85.57	112	621,461	739,715	119	87,761	93,105	106

製糸工場数 (件) Number of Filatures		
2005	2006	前年比 2006/05
702	710	101

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産量の推移 Domesticated Cocoon Production in China (1995年～2006年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	前年比 06/05(%)
北 京	Beijing													
天 津	TianJin													
河 北	Hebei	0.1	0.1		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				
山 西	Shanxi	0.7	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	150.0
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai	0.3									0.0	0.0		
江 蘇	Jiangsu	18.6	9.2	8.6	8.5	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	116.8
浙 江	Zhejiang	12.2	8.4	9.5	10.4	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	113.3
安 徽	Anhui	4.0	2.4	2.4	2.5	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	111.8
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	1.6	0.8	0.5	0.4	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	109.1
山 東	Shandong	5.0	4.1	3.4	4.2	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	108.1
河 南	Henan	1.8	1.3	1.3	0.6	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	144.4
湖 北	Hubei	2.2	1.2	1.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	114.3
湖 南	Hunan	0.3	0.2	0.1	0.1			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	100.0
広 東	Guangdong	3.3	2.2	2.1	2.1	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	202.9
広 西	Guangxi	2.1	1.7	1.5	1.8	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	125.0
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing				2.9	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	77.4
四 川	Sichuan	20.3	12.2	8.5	9.3	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	100.0
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	100.0
雲 南	Yunnan	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	155.0
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.8	1.5	1.4	1.6	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	90.0
甘 肅	Gansu										0.1	0.1	0.1	100.0
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia										0.0	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.6	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	100.0
合 計	Total	76.0	47.1	42.3	47.5	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	118.8

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5)中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2008年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野生生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 インド	India	8,376,916	95.61	198.655	95.74
2 ルーマニア	Romania	1,122,194	229.25	30.163	247.36
3 イタリア	Italy	829,113	84.23	23.391	89.00
4 日本	Japan	662,460	85.26	19.222	89.26
5 ベトナム	Vietnam	628,784	130.28	16.504	137.62
6 韓国	South Korea	561,080	62.02	14.868	61.67
7 パキスタン	Pakistan	246,913	93.97	5.794	92.99
8 バングラデッシュ	Bangladesh	193,213	83.00	4.502	82.55
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	154,721	67.92	3.735	67.63
10 タイ	Thailand	77,128	99.45	2.000	96.87
11 その他	Others	578,870	104.72	14.901	104.65
合計	Total	13,431,394	97.66	333.735	99.00

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2009年1月～6月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野生生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2009年実績	09/08(%)	2009年実績	09/08(%)
1 インド	India	2,974,142	69.23	65.835	65.76
2 日本	Japan	180,919	40.45	4.659	36.53
3 韓国	South Korea	159,943	40.56	3.985	38.96
4 ルーマニア	Romania	141,359	25.40	3.582	25.27
5 イタリア	Italy	113,465	23.89	3.164	24.32
6 パキスタン	Pakistan	81,810	99.68	1.777	91.46
7 バングラデッシュ	Bangladesh	81,683	92.86	1.829	89.92
8 ベトナム	Vietnam	56,162	13.30	1.312	11.92
9 シンガポール	Singapore	54,280	232.12	1.160	214.80
10 ミャンマー	Myanmar	35,405	184.84	0.758	161.39
11 その他	Others	114,857	26.70	2.833	26.17
合計	Total	3,994,025	55.21	90.894	51.32

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 イタリア	Italy	916,759	132.94	28.804	137.47
2 日本	Japan	627,903	140.56	20.108	143.90
3 インド	India	542,905	113.77	14.939	117.53
4 パキスタン	Pakistan	416,968	112.40	11.742	114.35
5 ドイツ	Germany	395,690	79.76	13.803	80.10
6 タイ	Thailand	211,670	174.92	6.409	180.18
7 トルコ	Turkey	63,941	148.93	2.429	140.48
8 インドネシア	Indonesia	48,415	137.44	1.315	145.49
9 韓国	South Korea	43,601	37.36	1.485	39.64
10 香港	Hong Kong	30,381	828.27	0.960	791.71
11 その他	Others	107,761	62.71	3.921	96.88
合計	Total	3,405,994	114.36	105.915	116.44

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2009年実績	09/08(%)	2009年実績	09/08(%)
1 インド	India	1,638,954	666.04	38.755	592.54
2 パキスタン	Pakistan	258,577	145.89	6.702	138.13
3 日本	Japan	248,899	73.67	7.308	70.74
4 イタリア	Italy	235,995	44.10	6.785	40.64
5 ドイツ	Germany	185,471	85.29	5.891	78.60
6 韓国	South Korea	92,530	546.19	2.447	405.25
7 シンガポール	Singapore	51,995	296.20	1.158	254.51
8 ベトナム	Vietnam	46,653	1,705.78	1.136	896.86
9 タイ	Thailand	45,093	34.16	1.268	33.43
10 インドネシア	Indonesia	34,983	233.17	0.855	217.41
11 その他	Others	89,852	97.71	2.736	82.76
合計	Total	2,929,002	163.63	75.041	137.46

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics(>85%Silk)			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2008年実績	08/07(%)	2008年実績	08/07(%)
1 インド	India	58,533,788	79.44	139.041	79.72
2 イタリア	Italy	44,916,778	138.52	144.278	131.10
3 香港	Hong Kong	27,767,378	94.40	122.817	97.18
4 パキスタン	Pakistan	20,415,584	99.70	41.814	99.23
5 韓国	South Korea	20,317,354	97.82	79.553	102.23
6 日本	Japan	13,594,742	99.07	37.482	103.06
7 アメリカ	United States	8,349,317	88.03	48.281	86.79
8 シンガポール	Singapore	7,180,679	93.89	19.236	79.86
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	6,901,548	124.54	22.457	70.65
10 マレーシア	Malaysia	6,756,442	186.33	23.028	200.41
11 その他	Others	34,603,876	121.03	125.775	120.81
合計	Total	249,337,487	101.22	803.762	104.13

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2009年実績	09/08(%)	2009年実績	09/08(%)
1 インド	India	32,045,506	129.13	73.210	129.05
2 イタリア	Italy	18,609,313	80.29	51.550	69.74
3 パキスタン	Pakistan	15,913,974	206.28	28.981	173.92
4 韓国	South Korea	8,213,082	80.98	29.969	76.86
5 香港	Hong Kong	7,829,428	59.97	34.745	61.60
6 マレーシア	Malaysia	6,054,139	153.78	19.088	143.86
7 日本	Japan	5,573,937	74.49	14.304	71.46
8 シンガポール	Singapore	4,328,516	144.76	14.441	211.01
9 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	4,084,666	112.15	13.515	109.81
10 アメリカ	United States	2,596,908	55.99	14.363	55.75
11 その他	Others	15,128,773	88.01	52.694	84.02
合計	Total	120,378,242	101.34	346.860	91.41

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6)ブラジルの繭・生糸生産量推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)	暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1985/86	11,353	1985	1,553,776	25,896
1986/87	10,575	1986	1,663,976	27,733
1987/88	11,830	1987	1,658,375	27,640
1988/89	11,470	1988	1,748,996	29,150
1989/90	15,829	1989	1,696,622	28,277
1990/91	17,221	1990	1,693,206	28,220
1991/92	17,586	1991	2,077,155	34,619
1992/93	19,134	1992	2,296,053	38,268
1993/94	18,260	1993	2,325,809	38,763
1994/95	16,260	1994	2,535,440	42,257
1995/96	15,368 (95%)	1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996/97	14,811 (96%)	1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997/98	14,594 (99%)	1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998/99	10,305 (71%)	1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999/2000	8,473 (82%)	1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000/01	9,916 (117%)	2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001/02	10,238 (103%)	2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002/03	9,966 (97%)	2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003/04	8,005 (80%)	2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004/05	7,146 (89%)	2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005/06	8,051 (113%)	2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006/07	8,617 (107%)	2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007/08	6,266 (73%)	2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008/09 〔見込み〕 〔Estimate〕	5,703 (91%)	2008 〔見込み〕 〔Estimate〕	1,223,305 (100%)	20,388

資料: ブラジル製糸協会

注: ()内は対前年比

〔 〕内の見込みは2008年1月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of January 2008.

(7) ブラジル生糸、絹撚糸及び副蚕糸の内需・輸出別販売状況

Domestic Demand and Exports of Raw Silk, Twisted Silk Yarn, and Secondary Silk Yarn in Brazil

単位：ト、()内は60kg俵
Unit: ton, Figures in Parenthesis: Bales of 60kg

区分		2003年実績	2004年実績	2005年実績	2006年実績	2007年実績	2008年予測 forecast	08/07 (%)
生糸 Raw Silk	内需 Domestic Demand	90 (1,503)	106 (1,770)	118 (1,971)	72 (1,202)	84 (1,403)	89 (1,486)	106.0
	輸出 Export	1,057 (17,652)	837 (13,978)	676 (11,289)	782 (13,059)	876 (14,629)	847 (14,145)	96.7
	計 Total	1,147 (19,155)	943 (15,748)	794 (13,260)	854 (14,262)	960 (16,032)	936 (15,631)	97.5
絹撚糸 Twisted Silk Yarn	内需 Domestic Demand	77 (1,286)	71 (1,186)	92 (1,536)	74 (1,236)	78 (1,303)	88 (1,470)	112.8
	輸出 Export	431 (7,198)	516 (8,617)	454 (7,582)	392 (6,546)	274 (4,576)	276 (4,609)	100.7
	計 Total	508 (8,484)	587 (9,803)	546 (9,118)	466 (7,782)	352 (5,878)	364 (6,079)	103.4
糸類計 Total	内需 Domestic Demand	167 (2,789)	177 (2,956)	210 (3,507)	146 (2,438)	162 (2,705)	177 (2,956)	109.3
	輸出 Export	1,488 (24,850)	1,353 (22,595)	1,130 (18,871)	1,174 (19,606)	1,150 (19,205)	1,123 (18,754)	97.7
	計① Total①	1,655 (27,639)	1,530 (25,551)	1,340 (22,378)	1,320 (22,044)	1,312 (21,910)	1,300 (21,710)	99.1
副蚕糸 Secondary Silk Yarn	内需 Domestic Demand	264	123	43	84	72	64	88.9
	輸出 Export	217	386	295	241	256	253	98.8
	計② Total②	481	509	338	325	328	317	96.6
	②/①	29.1	33.3	25.2	24.6	25.0	24.4	

資料：ブラジル製糸協会

注：俵換算は、合計で一致しない場合がある。

Source: ABRASSED A

Note: Bale value may not add up.

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2009年9月号 NO.8 平成21年9月1日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-9-4 蚕糸会館5階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL: <http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず